大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

昭和十一年四月二十三日

新京日日新聞

夕刊

四月二十二日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

極東の情勢に鑑み コザックの勤務制限撤廢

廿日聯邦中央委員會令を以て公布

【モスクワ廿日發國通】十月革命當時コザックの一部が同革命に參加した結果ソ聯政府は從來コザックに對して赤軍勤務を制限してゐたが極東の情勢に鑑み右制限を撤廢する

に決定、廿日聯邦中央執行委員會令を以て次の如く公布した

コザック自治共和國ソヴィエト政府が聯邦の國是に對して忠誠を盡せる事實に鑑み且同共和國コザックが一

般の聯邦内勤勞民衆と共に國防の大義に欣然參加せんとするの熱意を容れ此處にソヴィエト聯邦中央執行委員會は從來赤軍勤務に關してコザックに科した一切の制限を撤廢す

ア市の在留英人

避難準備に着手す

【アヂスアベバ廿日發國通】廿日アヂスアベバ駐在イギリス公使バートン氏はイタリー軍のアヂスアベバ攻撃が目睫の間に迫つた事實に鑑み約二千の在留イギリス人並に外國人の安全保護に備へるため萬端の手管に着手した、就中市外三哩のイギリス公使館區域には三千人を收容し得る避難地帶を設定し、毒ガス避難所食料貯藏所、飲料用井戸を設け更にイギリス人二名の指揮下に印度シーク族部隊を配備し嚴重なる警戒に當らせてゐる

南洋航路株式會社成立

【神戸國通】資本金百萬圓の南洋航路株式會社の創立總會は十五日開かれ中川社長以下役員決定成立を遂げた同社の配船は石原產業より五隻傭船し、月二回の定期航路を五月上旬より實現する、嚢に成立せる南洋海運が運賃引下げ等によつて集貨を行はんとするに對し同社に於ても運賃叢爭場裡に乘出しジャパチャイナ三社三巴の爭覇戰を現出することになつた

川越大使のアグレマン

正式通告さる

【南京廿二日發國通】南京政府は廿一日開かれた行政院委員會議に川越大使のアグレマン要求を上程、滿場一致之を承認可決し日本側へ正式に通告を發した

武部總長

日滿經濟委員會委員に決定

【東京國通】廿一日の閣議に於て武部六藏氏は日滿經濟共同委員會委員に決定した

關東局總長 武部六藏
日滿經濟共同委員會に於る帝國委員被仰付

植田軍司令官

北滿巡視の爲出發

北滿部隊巡視の爲め植田軍司令官は二十二日午前八時十分發飛行機にて渡邊副官その他幕僚を從へハルビンに向つた

繪畫館奉納壁畫

全部完成

【東京國通】御聖徳特に輝やく明治大帝の御一代記を永久に傳へる神宮外苑繪畫館の絢爛たる壁畫八十枚は廿一日朝奉納された和田英作畫伯の獻納式を殿りとして此處に全部の奉納を完了したので神宮奉贊會では豫定通り午後一時半から同館に閑院總裁宮殿下の台臨を仰ぎいとも盛大な完成記念式を擧げた、顧みれば大帝の御遺徳を慕ひ奉る全國民の熱心なる聲に應じて故澁澤榮一氏、阪谷芳朗男等が奉贊會を組織しこの繪畫館に着工したのが大正六年、同十五年完成、次で日本畫、洋畫の各巨匠七十六畫伯に大帝の御降誕から御大葬までの八十枚の製畫を委囑してから實に十二年、各關係者の獻身的な努力と苦心によつて此處に始めて大帝の御遺徳と共に明治、大正、昭和三代を貫く誇るべき大美術殿堂の完成となつたものである

藏相、財界巨頭の善處協力を要望

昨日の藏相、財界懇談會

【東京國通】馬場藏相は官民一致以て刻下の非常時財政經濟政策の遂行を期し嚢に西下して關西財界巨頭と懇談を遂げたが特別議會を目睫の中に控へ是非とも財界の支持を仰ぐ必要ありとなし、郷誠之助男の斡旋の下に廿一日午後七時より赤坂星ケ岡茶寮に於て就任後最初の懇談會を開催した

勞頭郷男は財界出席者を代表して藏相就任の祝辭を述べ、今後一層の健鬪を祈る旨の挨拶を述べ、その後を承け馬場藏相は時局の重大性を說き、一死報國その責を果さんとの悲壯な決意を披瀝した上、財政經濟各班の問題に就き諄々一時間に亘り抱負を述べて財界の善處協力方を要望した、この中藏相は特に國防、大陸政策の强化並に公債政策等に就ては現下の革新的問題として國防費の限度、滿洲開發方策、公債發行方針等の確乎たる意見を縷々開陳した、これに對し串田萬藏氏等財界巨頭から忌憚なき質問の矢を放ち

今夕我々は馬場藏相との腹藏なき意見交換により非常

郷誠之助男

ステートメント發表

【東京國通】懇談會後郷男は大要次の如きステートメントを發表した

□

時局に適應した政策を樹立

相互に時局認識を深め、新時代の趨勢に適應した政策を我財界に急激なる變動を與へざるやう穩健なる方策により逐次實現して行く可きことに意見の一致を見同九時半散會した

の認識を深めたと同時に我財政經濟問題は今後官民協力漸次穩健妥當な解決策に到達し得べきを信ずる、吾人は我國產業貿易の興隆發達が國運進展の基礎であり國民生活の安定上必須なる要件なりと確信するが故に今後益々この方面に努力を傾注しなければならぬ事は勿論、新時代の趨勢に適應せる改善を要する事項は鋭意考究しその實行に移すべきものは遲滯なく實現を期したいと思ふ而してその新政策が官民の協力により幸に我國財界に急激なる變動を與へず穩健な方法により遂行し得るならば我經濟界は近き將來に國情に相應しき新時代に入り益々その活動を續け國運の進展に寄與し得る事を確信する

朝鮮中央部を貫く 鐵道新設計畫

總延長二百七十六哩

【東京國通】宇垣朝鮮總督は上京以來朝鮮中央線建設に關し大藏省、陸軍省、拓務省其他關係各省と折衝中だが、大體大藏省側に於ても初年度豫算一千萬圓を追加豫算として本年度豫算に計上し、特別議會に提出するに決定した模樣であるが、該朝鮮中央線計畫内容は大體次の如くであるが之が財源は公債によるものとされてゐる

一、目的、朝鮮中央部の產業開發(日滿支連絡運輸の利便、既設線に比し水害の被害減少その他)

一、起點は釜山で蔚山、楊平より慶州迄は既設京釜線と並行し淸泉に於て分れ之を起點として義城、丹陽、原州を經て京城郊外淸凉里に於て既設京釜線に合致して京城に入る

一、延長、釜山から京城まで二百七十六哩

一、總經費 一億圓

一、繼續年限五ヶ年

メキシコ議會に聯盟脫退の動議提出

上院アギラール氏から

【メキシコシティ廿一日發國通】國際聯盟が伊エ紛爭の處理に全く無力を暴露した結果メキシコ政界の聯盟脫退論者は俄然勢を得た形で上院議員カンデン・アギラール氏を旗頭とする聯盟脫退派は愈よ廿二日兩院に聯盟脫退の緊急動議を提出し一氣に目的の貫徹を圖る意向とみられる、右に關し脫退派の代辯者は次の如く語つた

聯盟は日支紛爭、チヤコ問題、近くはドイツ政府のロカルノ條約破棄、伊エ紛爭等の諸問題に際し事毎に無力を暴露した、今や聯盟機構の死滅は不可避であるから聯盟組織に對し中南米政府が無關心たるを得ないのは當然の事で現にブラジルの如きは聯盟から脫退を敢行したのだ、我々メキシコに於る聯盟脫退論者も此情勢に鑑み斷乎初志を貫徹し中南米の友邦に率先し範を示さうとするものである

"利民"乘組員 奇禍に遭ふ

【ハルビン國通】廿日午後八時半頃江防艦隊軍艦利民乘組員五雲採、揚辛印、蘇富仁、張福銖、宮成德の五兵士が上陸のため同艦デッキボートに搭乘河中に降下せんとしたところボート後部が艦側にひつかゝり急傾斜した途端五名諸共水中に轉落した、物音に艦員が駈けつけた時は五名は既に流に押流されて居り附近碇泊中の軍艦や民其他の汽艇により闇夜の江上を隈なく捜索したが約三十分後五雲採が救助されたのみで他の四名は遂に行衛不明となつた、右は開江後最初の犧牲で江防艦隊では水上署と連絡し引續き死體捜査中である

素晴しい大きな大理石塊發見

神奈川縣三保村附近で

【横濱國通】神奈川縣では丹澤山一帶の地質調査を行つてゐるが、この程足柄上郡三保村の西端山梨縣に接する官有道附近に三千萬立方尺といふ素晴しい大理石塊のあるのを發見、一立方尺三圓の最低值段に見積つても數千萬圓の財源を得る譯なので採取搬出について具體的計畫を樹てることになつた

喜多少將着任

【上海廿一日發國通】新任駐支大使館附陸軍武官喜多誠一少將は夫人同伴廿一日午後四時官民多數の出迎へを受け着任した、同少將は語る

ゆつくり落付いて現地の情勢を先づ見なければならない、中央の對支意向なるものは前任磯谷少將當時と終始一貫少しも變化はない、從つて自分は前任者の方針なり工作なりを踏襲して完成し度いと思つて居る

第三艦隊司令官以下幕僚來京

第三艦隊司令長官及川古志郎中將及び幕僚一行は二十四日午前八時五十分着列車で來京一泊二十五日午後二時發列車で退京の豫定である、なほ新京に於ける日程は未だ未定である

大連の歡迎準備

【大連支社發】第三艦隊旗艦出雲は來る四月二十八日大連入港の豫定であるが新提督及川古志郎中將は二十三日旅順入港後直ちに幕僚を從へ新京を訪問の豫定である、尙大連に於ては陸戰隊上陸、軍樂演奏等ある筈、大連に於ける歡迎準備につき各機關に於て打合を行つてゐる

濱綏線運轉時刻 一部變更

【奉天國通】鐵路總局では最近に於る客貨輸送の増加に鑑み濱綏線橫道河子、一面坡間に新に混合列車一往復、一面坡、ハルビン間に貨物列車一往復を增加し更に地方旅客の便を圖りハルビン、綏芬河間運轉時刻を改正、九〇一、九〇二兩列車の區間を一部變更し來月一日より實施する事となつた

技術協會定時總會

社團法人滿洲技術協會第十二回定時總會は來る二十五日午前十時から新京軍人會館で開催される、當日のプログラムは次の通り

▲總會
一、昭和十年度會務並に事業報告
二、昭和十年度決算報告
三、昭和十一年度事業計畫の承認
四、昭和十一年度豫算の承認
五、定款會則變更案審議
六、新京支部設置案審議
七、役員改選報告

▲講演會 午前十一時
1、產業合理化運動に就て 關東軍顧問 竹内可吉氏
2、滿洲國經濟の現況に就て 關東軍 秋永參謀

正副參謀長就任披露宴

關東軍參謀長板垣少將、同副長今村少將は二十二日午後六時半からヤマトホテルへ日滿各機關の代表を招待就任披露宴を催し、宴酣なる頃主人側を代表して板垣少將の挨拶來賓を代表して張國務總理の謝辭があり、交々乾盃祝福をさゝげ歡談一時間餘で散會したが列席二百餘名盛會であつた

人事往來

▲植田軍司令官 二十二日午前九時五分ハルビンへ
▲田邊建設局次長 同八時五十分來京
▲淸水利吉氏(滿鐵)二十二日午前來京國都ホテル
▲山地英之助氏(同)同
▲右近又雄氏(滿洲化學工業會社專務)同
▲德川守氏(日本國產電氣取締役)同奉天へ
▲渡邊明氏(古河電氣)同
▲橋本辰二氏(同)同
▲南浦辰治氏(同)同
▲首藤治平氏(キリンビール

社員)同大連へ
▲脇本博司氏(パラマウント映畫社員)二十一日午後來京國都ホテル
▲藤原源太部氏(會社員)同
▲村瀨欽治氏(同)同
▲鈴木啓正氏(織工業)同
▲安靈悟氏(三和ゴム出張所長)同
▲利行睦生氏(西安炭坑監事)同
▲山本駒太郎氏(同社員)同
▲折下吉延氏(滿鐵經調)同
▲杉本整治氏(高岡組)二十二日午前來京國都ホテル
▲鈴木淸氏(滿鐵)同
▲堀内一雄氏(滿洲國官吏)二十一日午後奉天へ
▲中野琥逸氏(吉林省總務廳長)同萬寶山へ
▲高田邦之助氏(朝鮮商工株式會社)同ハルビンへ
▲大賀々市氏(朝鮮總督府技師)同
▲横山良男氏(設計圖業)同奉天へ
▲森神藤太郎氏(商業)同大連へ
▲田中靜夫氏(朝鮮總督府)同ハルビン
▲苫米地四樓氏(陸軍少將)同來京名古屋ホテル
▲藤井十五郎氏(陸軍少佐)同
▲伊藤喜八郎氏(滿洲國官吏)同
▲吉田常逸氏(同)同
▲横田愼太郎氏(官吏)同
▲中里龍氏(同)同
▲吉川勝氏(同)同
▲川村進氏(鐵路總局)同
▲關口猛氏(滿洲國官吏)同
▲中西甚氏(商業)同
▲原直知氏(會社員)同ハルビンへ
▲小川茂氏(辯護士)同來京ヤマトホテル
▲永野絞三郎氏(滿鐵)同
▲大和田調一氏(官吏)同
▲寺西圭三氏(明星公司)同
▲石原次郎氏(官吏)同
▲添才次郎氏(會社員)同
▲中野誠一氏(國立高農教授)同市内へ
▲突永一枝氏(滿鐵)同
▲岡田源太郎氏(内外綿株式會社重役)同北京へ
▲青井豐太郎氏(同社員)
▲神谷直太郎氏(會社員)同ハルビンへ
▲木村維次氏(東洋生命社員)同奉天へ
▲川島修氏(陸軍大尉)同公主嶺へ
▲除程九氏(大同酒精社長)同ハルビンへ
▲鈴木信一氏(會社員)同市内へ
▲迫間武雄氏(商業)同營口へ
▲吉興上將(第二軍管區司令官)同吉林より
▲植木中佐(關東軍司令部)同
▲松田警正(中央警察學校主事)同古北口より
▲田尾大佐(同)
▲マヒー伊太利領事(哈市駐在)同奉天より
▲佐藤滿鐵理事 二十二日來京
▲丸茂大連市長 同

乳房ある悲み

(譲上演上映) 中西伊之助 作 泉武久 畫

溫泉場の客(四) (六十四)

『あの男がそんなことをいつてゐるのかね、ふむ……』

『だからお父さま、あの方が總選擧か補缺選擧の場合に立候補されたら、しつかり後援してあげて下さい』

『其れは選擧費位はごうかするよ』

『選擧費位ではだめよ。もつとしつかりした運動費ですよ三四十人の代議士を當選させる位のお金ですよ』

『大きなことをいふなよ、そんな大ばくちが打てるもんかい、へ、へ、へ、へ』

謙造は華代子をのこしてかへつて行つた。

華代子はかなり得意であつた。なぜなら、父の口吻ては齊の出やう一つて、將來彼に相當な運動費を支出してもよいと思つてゐる事が明白であつたからだ。

その日、彼女は東京へかへつたが、自宅へはかへらずに鐵道ホテルに泊つた。そして自動車で齊を迎へに行つた。彼女が齊と約束した日が丁度その日に迫つてゐた。

約束通り齊は自分の家に待つてゐた。特にいゝ自動車をえらんで、華代子はそれを高山家の玄關へ橫づけにした。

玉汝が出て來た。自動車から降りた華代子を見て。

『おや、ゐらつしやい』

といつて、そこに突ッ立つてゐた。華代子の派手すぎる和服姿を眺めて、少しく呆れてゐたのであつた。

『お兄さま、ゐらつしやる?……』

華代子はいきなりさうきいた。

『え、』

玉汝は二人の約束を知らなかつた。

『さう、私お迎ひに來たの』

『さうですか、……』

玉汝は、はしやいでゐる華代子が不思議であつた。そして何のために迎ひに來たのだらうと思つた。

『ごこにゐらつしやるの?お兄さま』

『お書齋に』

『さう、きつと待ちくたびれてゐらつしやるに違ひないわ……』

華代子はさういつて、廊下をバタバタとかけ出さうとした。

『あ。お姉さま、ちよつと待つて下さい』

と玉汝は呼びとめた。

『なあに?』

『あなた、すぐお書齋にゐらつしやるんですの?』

『え、、どうして?』

華代子は不平らしくきいた。

『でもね、兄は家の者が取次がないと、非常に機嫌が惡いんですの』

『いゝわよ、私ならいゝでせう?』

華代子は、それを權利であるやうにいつた。

『え、、惡くはないけれど、突然あなたがはいつていらつしやると、後で私達に機嫌が惡いんですから……』

『そんなに私を他人扱ひになさるの、私はちやんとお兄さまとお約束がしてあるんですよ』

華代子はたうたう突つかかつて來た。

『さうですか、ではいらして下さい』

玉汝はやむを得ず答へた。

とそこへ、綾緒がひよつくりと出て來た。

『いらつしやい……』

と綾緒は華代子の姿をじろじろと見廻した。

『おばさま、今日は』

といつて華代子は平氣で書齋の方へ行かうとした。

『貴女ごこへゐらつしやるの?』

綾緒はその後姿へきいた。

公示第二號

今般公費、土地建物貸付料、水道料金其ノ他弊社新京地方事務所ニ於テ收納スヘキ諸料金ヲ昭和十一年四月一日ヨリ左記銀行ニ於テモ委託收納スルコトト相成リタルニ付公示ス

記

一、正隆銀行(日本橋通四一)
一、滿洲銀行(同 三二)

昭和十一年四月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 武田胤雄

スポンジ組に――耳よりな快報！
西公園蓮池とプール裏手に 軟式野球場を作る

野球シーズンに入つたが練習場がないのでこぼしてゐる同好者の便宜を圖る爲地方事務所ではいろ／＼適當の場所を物色中であつたが西公園内潭月池の下手蓮池を埋め立て軟式野球場を設け一般に使用させることに決定し近く着工の運びとなつたが今一つ白菊町プール裏手にも軟式野球場を設け一般に公開する計畫を立ててゐるが完成の曉は今まで各學校の校庭其他を借りてゐた不便が除かれるので非常に期待をかけてゐる

野球會員券 市中で賣出し

新京本年の球界は二十五日本社主催の全新京硬式野球大會をトップに五月中旬には内地の強豪東鐵を始め明大、早稲田第二軍、巨人軍等相ついで來襲決定これを邀へうつ新京倶樂部またベストメンバーを揃へて用意おさ／＼怠りなくファンを熱狂させてゐるが本年の野球會員券もいよ／＼二十二日から左記各店で賣り出してゐる

▲西山運動具店▲三協▲白十字▲森洋行▲明治製菓▲淺沼理髪店▲新京理髪店▲銀パレス▲日清生命▲長谷川工務所稻木▲地方事務所駒井

新京全記者團の野球チーム成る

新京全記者團野球チームの新陣容は二十一日左の如く發表された

團長小野（同盟）監督五百旗頭（滿日）選手井上（大朝）山中（大毎）福代（同盟）岡本（電通）宮崎、窪野、中野（國通）吉田、礪田、結城（滿日）中川、門馬（大新京）德永、河裾（新京日日）安井（泰東）

なほ本年は往年法政の正投手として神宮球場に出場した吉田要君を迎へ意氣軒昂近く協和會チームと今春第一回の試合を行ふ筈である

地方都邑の
都邑計畫逐次施行

民政部土木司では地方諸開發の中心となる地方都邑の近代的構成につき留意し主要都邑の都邑計畫を逐次決定諸施設並びに市街構成の改善及び將來の發展を豫想して街區の設定を行ふ等々之を實行に移し昨年度に於ては先づ錦州、牡丹江、佳木斯、承德が事業を開始したが今年度に於ては延吉、北安鎭、洮安其の他七箇都邑に對し都邑計畫案の最後決定を行ひ事業施行に移る方針で之れが爲め二十三、四兩日中銀倶樂部會議室に延吉、北安鎭、洮安及び承德の一部未決定計畫案につき審議決定の都邑計畫打合せ會議を開催する事となつた、出席者は本部土木司長以下各科長、各技術官地方より前記各都邑の土木主任者等である

詐欺横領犯人

朝鮮忠清北道清州郡生れ吳淵升（三三）はかねて二百餘圓詐欺横領犯人として新義州署から手配中のところ新京署鄭張兩刑事が二十一午後六時ごろ朝日通り二十八番地先を徘徊中の犯人を發見逮捕した

殉職驛員に效績章

十八日拂曉數十名の匪賊が安奉線南攻圖驛襲擊の際沈着克く急を關係各所に通報すると共に部下と協力挺身驛舍を死守し悲壯の奮闘をつゞけ遂に賊彈のため殉職した同驛助役故戸田稔氏、驛員故今奈良政國同吉澤榮一郎、同大瀧虎重、同陳玉峯諸氏の犠牲的精神は社員の龜鑑として滿鐵は十八日附各の效績章と金一封を進授して表彰した

◇近づく端午の節句

新京中學四年生 北支旅行通信（十一）

四年二組 佐々木 義

青島―大連 四月九日

籠城の如き一夜は明けて、陽光が丸窓の間より船室へ流れ込んで來た。がら／＼といふ積荷の音、または入港船の鳴らす「ボー」といふ汽笛の音、パイロット船のエンジンの響、港は次第に活動と殷賑の雰圍氣を釀しつゝあるやうだ。甲板にのぼつて青島港を見渡せば、港内の霧はすつかり晴れ渡り、海上を飛ぶ鷗の姿も輕快を思はせる。春もまだ淺い海の面は、さすがに麗かな色こそ見せぬが、静かな光りをうつとりと含んで眠るやうに船體の下まで寄せてゐる。海は素晴らしい。港のない町、海のない都に住む我々は殊更に海のよさを感じる。

時は立つ。遂に定刻午前九時、船員の打鳴らす出港合圖の銅鑼の音が埠頭全體になり響き北支における將來の活躍を胸に秘めたる我々京中生をのせた青島丸は、徐ろにその巨體をゆるがせはじめた。嗚呼、北支ともお別れだ。想へば過去七、八日の短期間にすぎなかつたが、此の旅行によつて、我々は北支の事情について色々と得る所があつた。殊に、濟南に向ふ列車中での出來事、亦濟南における一洋車引きの言にすぎないが、「日本と滿洲國と同じものだ」等については充分考へるべきであると思つた。船はすゝむ、陽の見送りを受け、銀色に光る波をけつて。海は段々と荒くなつてきた。それに反比例して青島の町は益々小さくなつて行き、あの高い教會の尖塔も見えなくなつてしまつた。沖に出るにしたがつて、昨日の嵐のあとをうけた海は、だん／＼とうねりを生じ、船のローリングも相當はげしくなつた。ローリング毎に感じるあの云ひようのないいやな氣分、これには皆も相當參つたやうだ。あれ程列車や宿屋で茶目た連中もおとなしくのびてゐる。晝食も二口、三口でやめたのが相當居たやうだ。でも午後になると次第に馴れて、元氣も回復し、甲板を飛びまわつたり、北京の東安市場あたりででも買つたのであらう、火吹竹に穴をあけたやうな横笛を吹きまくつて騒ぐもの、さては船長さんと仲よくなつたり、無電室に潛りこんで色々と有益な教をうけるものなど、この所京中生青島丸獨占の感ありだ。かくて船の進行とともに太陽も落ち、月の昇る頃となつた。

公學校高級生 旅大見學

新京公學校高級二年生忠組男女四十名同信組三十六名は松下、山本兩教諭に引率されて五月五日から九日まで旅大方面に修學旅行をなす

全市を擧げて衛生係總動員
けふ一齊に檢病戸口調査

接客業者一萬人の健康診斷、檢病的戸口調査などに暇ない新京署衛生係では二十二日午前十時から係員、衛生隊員、臨時防疫監吏總動員で管内飲食店、料理屋、カフエー、果物屋、魚菜市場、鳥獸肉店、菓子屋その他飲食物行商の一齊取締を實施し午後三時引揚げた

診療所と公醫を全滿各地に增設
＝衛生司保健對策＝

國民保健の向上は國家興隆の上に重大關係を有するので民政部衛生司では衛生思想の普及並に醫療機關の整備に力を注ぐ一方惡疫防止に萬全を期し夫々所要施設の强化に努めてゐるが、民間醫療機關の發達、國民の衛生思想未だ幼稚なるに鑑み官營の公醫配置並に財政部發行の福民獎券益金による診療所の增設を行ひ、以てその缺點を補ふ方針の下に康德三年度に於る公醫配置診療所開設を左の如く決定した

△福民診療所

吉林省樺樹、龍江省北安鎭、黑河省呼瑪、三江省通河、湖南營、濱江省延壽、哈達河、間島省羅子溝、安東省寬甸、奉天省輝南、錦州省彰武、熱河省圍場 以上十二、既設十三、計廿七ヶ所

△公醫駐在地及び派遣員

吉林省 伊通、王春化、舒蘭、盧明志

龍江省 克東、李聯凱、北安鎭、須藤清五郎

黑河省 漠河、田常榮、烏雲、李延芳

三江省 通河、連鎔、饒河、張俊儒、湖南營、北門國弘、永豐鎭、佐々久男

濱江省 望奎、馬瑞吉、賓徐膠藩、綏稜、潘聯珊、王榮廟、佐川豐、哈達河、福地靖

間島省 羅子溝、金榮坤、和龍、李容勳

安東省 長白、戚延年、撫松、張連壁

奉天省 金州、曹希哲、柳河、劉齊昆

錦州省 盤山、楊書璋、彰武、韋嘯廬

熱河省 凌南、藺銘新、灤平、朱德潤

國都新京では主婦・學・校
家事講習所を擴大

新京滿鐵家事講習所は嫁入り前の女子並に嫁入後主婦として最も必要な和洋裁、生花等を教授し好成績を收めてゐるので毎年希望者が增加するに鑑み地方事務所では之を一層擴大し東京あたりで今流行の花嫁學校と同程度の内容に更に滿洲の特殊事情を加味した主婦學校といふやうなものを設けたいといろ／＼調査研究を進めてゐるが、國都の現況に即して案外急速に實現の運びとなるのではないかと見られてゐる

ケンプ氏作の皇帝協奏曲 廿三日賣出し

ベートーヴエン物のピアノ演奏では世界一と稱せられる純粹のナチス音樂家ウイルヘルム・ケンプ氏は、外務省の斡旋により來朝し春の樂壇を大きく搖がし全國各都市で約十五回の演奏を試み壓倒的好評を博したが、滿洲へは遂に來らず在滿音樂愛好者間に渡滿中止を惜まれてゐる矢先きポリドール蓄音器會社では巨匠ケンプ氏を偲ぶため二十三日を期して全滿一齊にベートーヴエン曲『皇帝協奏曲』を賣出すことになつた、此の新譜レコードは、ベートーヴエンの『皇帝協奏曲』がケンプの皇帝協奏曲かとまで絶讃されたものでケンプ氏のピアノ妙技がラーベ指揮による伯林フイルハーモニック管絃樂團の伴奏により雄渾華麗なリズムを漂はせ完膚なきまでに再生され、レコード界近來の大收穫として折紙付けられたものである五枚一組十五圓、美麗アルバムが添付されてある

目睫に迫る新京野球大會前記（二）
電々OBに勝味 興味の中心對新廳舍
打擊戰の展開を豫想さる

滿洲國軍の至寶水原を中心に鈴木、佐々木、木村、鎌田の主力に新に入部せる明石中學に知られたる横内一壘手を投手に起用し之を補佐して新人中野、早大より馳せ來る一壘には專門學校の雄松山高商の井手を一壘に他は舊選手にて組織せられたるに反し、電々OB軍は名の如くOBを主體に少數の新人を以て編成す、先づ明大出身で大連實業にて鳴らした鈴木並に早大出身の同じく白岩、大月の名選手を主體に新たに東都五大學の覇者專修大學より永野來り投手及び一壘を守る、

鈴木　白岩

×

先づ兩軍の守備を見るに廳舍主戰投手水原は人も知る如く萬能選手として知られ滿洲國チームの至寶であり、之を助けて阪神の名門明石中學の一壘手横内を投手に起用萬全の投手陣を布けば一方電電OB軍は剛球投手の名ある鈴木を陣頭に立て對戰し先づ投手力は五分々々、捕手は新廳舍早大出身新人中野に對しOB軍は法大出身の中島を配し早法共に新人にして共に活躍を期待される内野陣は新廳舍二壘に新人松山高商出の井手と强肩無比の評ある佐々木遊擊手との好聯絡に水ももらさぬ守備陣に對し、OB軍は一壘に新進の永野、二壘に早大に鳴らした大月、遊擊に大連實業にその人ありと知られた强打强肩の白岩の名コンビにて守備に於て技倆に於て相伯仲せるも幾分OB軍に歩ありと思はる、外野陣は新廳舍は滿洲國チームの舊選手を以てし、OB軍は大學出を配置しては居るが中心となるべき者なく此の點新廳舍軍に利あり、内野、外野陣平均して守備に於て甲乙なしと見るが至當か、

×

攻擊を見るに新廳舍水原、横内、中野、井手、佐々木、木村の主力打者に對しOB軍は鈴木、白岩の超努級並に中島、大月、永野の錚々たる打擊陣は恐らく打擊戰展開が豫想される、

×

兩軍共に練習の日なく實力を充分發揮出來ないかも知れないがその點却つて打擊戰に終始し觀衆を喜ばして與れると思ふ、勝敗は豫斷を許さず、守備率の七割を背負ふ投手の練習不足の爲め投手戰は考へられないが何れにしても投手を早く打ちこなした方に勝利の榮冠は擧がるのではなからうか

新京中學に又も猩紅熱

市内日本橋通り七十三番地宮本信七氏長男新京中學校二年生宮本隆君（一四）はさる二十日發病二十二日午前八時槇醫院で診察の結果猩紅熱と確信同時に分院に隔離されたが寄宿舍から三名の傳染病患者を出し同中學校ではます／＼恐慌を來してゐる

地委幹事來京延期

二十二日來京の豫定であつた滿鐵沿線地方委員聯合會常任幹事八名は都合により來京延期の旨二十二日朝地方事務所に入電があつた

明大勝つ 對早大野球 1―0

【東京國通】早大渡米送別の對明大野球戰は午後三時七分から明大先攻で開始結局一對零で早大敗る、閉戰四時四十五分

△スコア

明大	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

連副總監來社

首都警察副總監連續修氏は二十二日着任挨拶に本社へ來訪

廣告凧募集

天長節奉祝日滿凧揚大會は各方面とも異狀な力の入れやうであるが新京輸入組合では加入各商店から廣告凧の申込みを取扱ふことゝなつた、時日が切迫してゐるので申込は全部で十五組、價格は一個十五圓位で廣告文字は八字以内希望者は至急申込まれたいと

白監事就任挨拶

滿洲電信電話株式會社監事に就任の白錫澤氏は二十二日挨拶に來社

あす（廿三日）

△森林事務所長會議第一日、午前九時より實業部會議室
△張總理、軍正副參謀長を招宴、午後六時半、ヤマトホテル
△齊々哈爾鐵路局愛護村長團來京、午前八時四十分
△第三次日本行政視察團出發午後四時
△武部關東局總長南下出發、午後八時
△春競馬第二日午前十時より
△拳鬪第二夜、記念公會堂

◇今晩の主なる演藝放送◇

六・〇〇花めぐり「兼六公園夜櫻」―金澤市兼六公園より中繼―▲七・二〇ピアノ獨奏―大阪桃谷演奏所より中繼り▲七・五〇小唄「散りもせず」「明日はお立ちか」「うから／＼」―二、三「四四重一重」五「夜櫻」（東京）▲八・〇〇映畫劇「春日とよ金」「ハロー東京」（東京）神田千鶴子、外

天氣 西の風晴一時雲
日の出 午前四時四十三分
日の入 午後六時三十三分
月の出 午前五時二十二分
月の入 午後九時三分
けふの温氣 最高 十三度九 最低 二度七

荊妻ヨネ儀病氣加養中ノ處藥石其効ナク二十一日午後七時死去致シ候間生前ノ御懇情ヲ拜謝シ謹デ御通知申上候 追テ二十三日午後四時西本願寺ニ於テ告別式相營ミ可申候 昭和十一年四月二十一日 新京特別市和街六一二號地 夫 村上末吉

涙美しく情熱香る田園牧歌調荘重名作の感激!人生劇場に次いで贈る爆彈文藝映畫・大日活劃期的野心篇!

情熱の詩人啄木

ふるさと篇

ウエスタン・オールトーキー

仰ぎ見よ!「情熱の詩人啄木」の生涯を!躍進日活のみが成し得る良心的巨篇茲に公開……

その香り高き製作良心に先づ酔ひ給へかし……

島耕二　小杉勇　黑田記代　澤村貞子　村田宏壽

吉谷久雄・沖悦二・瀧花久子

美川勝美・笹谷源三郎・兒童數百名

原案脚色……小田喬　潤色監督……熊谷久虎

脚色……安達伸男　撮影……永塚一榮

お阻那孝せ

原作　額田六福

脚色監督　尾崎純

尾上菊太郎主演

小林重四郎　衣笠淳子　深水藤子　藤川三之祐　岡崎晴夫

サウンド版　粋好本場結城縞

山路ふみ子　杉狂児主演　明朗トーキー

花嫁寝台列車

二十三日封切　階下八十錢

新京キネマ

SHINKYO KINEMA

近代都会色を描きつゝ異国的夜のイモーションを満載して——

東二條通祝町角青陽ビル……地階に

BAR カルメン

開店

4月24日!

カフエーの女王

ママ

大新京の異彩

開店

東京新宿ヨリ女給夛數ライエン

東一條通リ　デンワ(3)二五五四

日濠關係惡化憂へ 羊毛工業會抗議
本邦人絹織物輸入制限に反對

【大阪國通】オーストラリヤ政府の本邦人絹織物輸入制限問題に關し羊毛工業會では濠洲羊毛の消費者たる關係上愼重に事態の推移を靜觀しつゝあつたが、其後濠洲政府の非協調的態度は愈々露骨となり本邦綿布並に人絹の輸入關稅引上を企圖する等兩國通商關係は全く危機に瀕するに至つたので、同會では廿一日オーストラリヤ政府當局並に關係業者に左の如き要旨の通告を打電し同會の强硬態度を明示すると共にオーストラリヤ側の猛省を促した

オーストラリヤ政府の本邦綿布並に人絹の輸入關稅引上案は日濠兩國關係の惡化を誘致すべく眞に憂慮に堪へない、之が實現の曉には羊毛輸入貿易上に重大なる結果を生ずるやも保し難く切に貴國の深甚なる考慮を促す

同和自動車工場を大擴張
工費二十萬圓で生產强化

同和自動車會社では滿洲國內自給自足をモツトーに國產自動車製作販賣に力強き歩みを示してゐるが同會社では國產品たる、自社製品が輸入車シボレーよりも高價なる現狀に鑑み豫てよりこれが打開策を研究中であつたが今回大衆車（一名經濟車）の大々的製作を計畫自家用車としてシボレー、フォードを向ふに廻し國產車の積極的進出を試みる事になりたるため小西邊門の工場を工費二十餘萬圓で大擴張し生產陣容の强化を圖ることになつた

紡績の操短
六月は現行率で

【大阪國通】紡績聯合會では廿一日午後操短委員會を開き六月の操短率を現行率据置と決定した、右は生產調節委員會に於て目下考究中の生產割當方法が未だ全體的に決定しないため取敢へず六月のみの操短率を決定したものである

滿洲全國の
銀行勘定調査

康德三年二月末現在に於る全國七十三の普通銀行勘定調査によれば一億九百五十八萬三千九百八十七圓でこの中內國銀行五千三十八萬二千六百七十三圓、中國側銀行五千九百二十萬千三百十四圓であるが之を地方別に見れば左の如くである

地方	金額
奉天省	三、二六九、九一五
吉林省	四、六三九四、七
錦州省	四二二、八二
安東省	四、八五四、〇二四
三江省	一二二、〇二四
興安省	六〇、七一一七
新京特別市	八、六四一、四八
ハルビン特別市	九、五五九、六五一
合計	三〇、六八二、六七三

新京輸入組合
決議事項

新京輸入組合では十八日役員會を開催昭和十一年度の加入料及增口料につき審議の結果新加入者及び增口希望者の便宜を考慮し加入料一口につき六圓、增口料一口につき金三圓と從來通り据置くことに決定、次で廿九日の天長節、三十日の招魂祭に加入者休業の

半年振り松花開江
初航積荷閑散
上流沿岸に小匪賊の噂て

【ハルビン國通】約半年間氷に鎖されてゐた松花江も漸く解氷して松花江航運の先陣を承り航業聯合局汽船綏遠は今日午後四時ハルビン發江橋に向つて船出した、例年の初航は相當量の積荷があるが今年は旅客僅かに十餘名、貨物は雜貨六十五個、麻袋六個、麥粉百個、價格にして約六千圓といふ閑散振り、此の現象は上流沿岸一帶に小匪賊が船脚を狙つて待期してゐるといふ噂が影響したものらしい

擡頭した糧棧問題 (一)
恐慌下に於ける農村の重要問題
─再檢討の俎上に乘る─

特產を繞つて、滿洲農業經濟上の傳統的重要機構たる糧棧が、滿洲における政治經濟的變革、とその變革に本づく新事態に直面して內部的に乃至外部的に、あらゆる角度から、再檢討の俎上に載せられつゝあるものは蔽ふべからざる事實である。受れは廢止の可否、存續の是非を超越したる避くべからざる歷史的移行であるとともに、その冷靜なる認識への要請であるといはなければならない。

すなはち滿洲特產中央會と滿洲國實業部との協力によつて組織されてゐる特產取引合理化委員會では、滿洲事變後漸次不振に陷りつゝある、糧棧の精密なる研究を續けてゐるが糧棧は事變後南支北支方面への資本引揚げのため非常に無力化し、昨年五六月の候における大豆暴落の際のごとく、一朝取引に支障を來せば忽ち多數の倒產を招くやうな狀態となつてゐる、從つて農民の糧棧に對する信用は漸次低下し、資本の缺乏と信用薄によつて、久しき傳統の中にふくまれた有效なる機能は、次第に剝落して行き、それにも拘らず搾取的機能は依然として存續し、所謂青田賣買のごとき高利貸の手段が、引續いて農民經濟を苦しめつゝある事實が明かなので、果して糧棧が滿洲の農業經濟上に必要なる機關であれば、搾取的機能を是正して、有效たる機能を助成するごとく强化するか、また無用有害なものであれば、何等か他の機關をもつて、これを代行せしみるかについて眞劍なる檢討が行はれつゝあるといふのである。

×　×

およそ取引機構合理化乃至中間搾取機關の排除によつて可能の限りにおいて生產者と消費者との接近することは、直接連繫をその窮局の目的として、生產者ならびに消費者双方の必然の要求であるのは今さら更めていふまでもない特產取引においても油坊乃至輸出商が、直接に農民と結びつくことが、双方の利益であるばかりでなく、それは取引上の理想でもある、しかし、それは政治的、經濟的乃至文化的原因によつて、ほとんど絕對的に、從來實現し得なかつたところであるが、滿洲事變を楔機として、政治上經濟上の變革がもたらされたと同時に、文化の漸次的向上も期待さるるに立り、一方糧棧それ自體の內部にをいても、甚しき變化を經驗することゝなつたので、特殊の歷史的軌道に乘つて來た糧棧が、今や再檢討の俎上に載せられることを餘儀なくされたわけである。

×　×

いふまでもなく滿洲經濟が特產を中心として廻轉し、而も往々にして、特產の危機が叫ばれつゝある時特產取引の特殊重要機構たる糧棧の興亡消長にかかわる變化と移行が相當の經濟的注視を浴びつつあるのは當然である。ことに罷脫すべからざる世界的農業恐慌の影響下にありて、疲弊を極めつゝある、滿洲國農村經濟を背景として、糧棧の問題を觀取し得る根本的な[illegible]層その重要性を加へ來るのを覺える。(水口生)

商況欄
(四月廿二日前場)
海外經濟電報

豐樂劇場

上映	一回	二回	三回
丹下左膳 前篇	12・30	4・20	8・10
同後篇	1・4[illegible]	5・35	9・25
ダンテの地獄篇	3・00	6・50	日曜・祭日は十二時より

電話2・1445 2・1585

帝都キネマ 二十二日より
支那海 ハヂーウォーレン・ベラクルーグ・ジーン・オンズ（アイリアの顔合せ）
半島の舞姬 舞踊界の明星 崔承喜主演
階下壹圓
電話2・1236・2・1405

新京キネマ 廿三日封切
情熱の詩人啄木 島田耕二 黑記代
お旦那半次 尾上菊太郎 衣笠淳子
花嫁寢臺列車 杉山狂 路ふみ子
階下八十錢
電話3・2068

長春座 廿二日封切（三日間）
夢うつゝ 蒲田特作・田中絹代・小林十九二
やくざ無敵 下加茂・大内弘・笠井光・二川京子 監督
最後の駐屯兵 パラマウント超特作 ゲーリー・クーパー・フランシス・ドレーク・ローズ 共演
四拾錢
電話3・3134・3・5766

恒例の型を破り
春の大賣出し
自四月廿五日 至五月十日
新興製品第一線飛躍
斬新と優良と廉價を謳はれた
小紋、繪羽織、セール、半衿、名古屋帶、西陣御召、銘仙、モス着尺
賣出し中に限り春物流行新柄大特賣！
人形着附柄人氣投票
一、店內へ着付人形を出品し獨特の最高意匠を以つて競艷展觀をいたします御買上げの有無に不拘投票用紙を差上げ最高人氣柄の御投票を仰ぎます
一、最高人氣柄への御投票者 五名樣
特別賞品 小紋、御召 名古屋帶 銘仙 を贈呈申上ます（多數の場合は抽籤にて決定します）
一、尙選外の五十名樣へ粗品進呈
一、當籤發表（五月十一日）店頭及び市內新聞紙上に發表
賞品は站內に陳列致します
一、賞品引替は五月十一日より二十日までに限る
冬もの持越品（小紋、銘仙、毛斯着尺、半衿）市價の半額にちかいお値段にて投賣
京 新京百貨店 吳服雜貨部 一番賣場

營業科目
ボールト、ナット、ベルト、釘、針金、各種工具、建築金物、土木材料、機械工具、電線、電氣材料、電工、一般工事請負、施工並販賣
御見積り御伺ひ致します 一報次第
田村商行 新京[illegible]路二二五 電話[illegible]二七八〇番

蓄音器 レコード
蓄音器・レコード・樂器 各種取揃へて有ります故何卒多少に不拘御用命の程御願申上ます
蓄音器修理・レコード吹込
新京大經路三六（市場前）小關樂器店 電(2)三二六一

產科婦人科增設
產科 婦人科 花柳病科 醫學士 新田平三郎
和坂醫院
入院 隨時
內科 小兒科 院長 肥後弘子
新京メイヤ街老松町一六（朝日通）
電話 三―一五七〇九番 三―二三二九番 二―一二四五番

胸ませる歌！
滿洲想へば 高橋掬太郎 作詩 大村能章 作曲 唄 音丸 レコード番號二八七三三
下田夜曲 高橋掬太郎 作詩 竹岡信幸 作曲 唄 音丸 レコード番號二八七七二
コロムビアレコード C4―51

朝から歌！
初戀日記 高橋掬太郎 作詩 江口夜詩 作曲 唄 松平晃 伏見信子 レコード番號二八七〇一
さくら行進曲 西條八十 作詩 江口夜詩 作曲 舖り振附っき 唄 音丸 伊藤久男 松平晃 二千代 レコード番號二八八〇〇
Columbia
製造發賣元 日本蓄音器商會株式會社

移轉御挨拶
今般店舖擴張の爲改築中に付き祝町三丁目十七番地朝鮮銀行横に於て營業仕り候間何卒倍舊御引立の程偏に懇願仕候
祝町三丁目十七番地（朝鮮銀行横）
興順增假營業所
電話(3)三〇九一番

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 朝刊

發行所 新京日日新聞社

印刷人 水越內之介

數年來の懸案實現 滿洲國鹽業會社生る

設立委員もそれぞれ任命 けふ設立委員會開催

滿洲鹽業會社設立委員會は愈よ二十三日午後一時より日滿軍人會館に於て開催されるが設立委員長及委員は左の如く決定を見た

▲委員長 財政部大臣 孫其昌

▲委員 財政部總務司長 星野直樹 實業部總務司長 高橋康順 滿鐵計畫部業務課長 奥村愼次 東拓新京支店長 中井雅人 滿化工業會社 右近又雄 曹達晒粉同業會 石川一郎 大日本鹽業會社 甲斐喜八郎 德山曹達會社 平野亮平 旭硝子會社 杉森政治

鹽業會社設立に就て ＝滿洲國政府當局談＝

我滿洲國は元來製鹽資源相當に豐富なるに拘らず其の生産は從來國內需要を充たす程度以上を出づること多からざる我産業開發上常に遺憾とせる所にして若し有力なる製鹽業者が合理的經營を爲し其の製鹽を日本に輸出することを得ば啻に我滿洲國の遺利の開發となるのみならず常に工業原料鹽の不足を感じつつある友邦日本の爲め原料の確保となり實に一擧兩得の事として夙に日滿兩國官民の間に製鹽會社設立の議行はれたり今回幸にして滿洲鹽業株式會社法の公布を見玆に數年來の懸案の解決を見たることは日滿兩國産業界の爲め同慶に堪へざる所なり本會社は其の當初の計畫に於て從來捨て顧みられざる地方に新に鹽田を開發すると共に既設の鹽田を指導改良することに依り年額二十數萬屯の産出を期待し之を日本に輸出し以て年々漸增の傾向に在る需要を緩和し友邦化學工業の進展を資けむとするものなり、而して滿洲國政府に於ては能ふ限りの保護助長を之に加ふることとしたるを以て日滿經濟の不可分關係を益緊密ならしむるものと信ず

鹽業會社法 本日勅令を以て公布

滿洲に於て鹽田を開發し鹽の增産を圖り日滿兩國に對し主として優良低廉なる工業鹽の供給を圓滑ならしむるため滿洲鹽業株式會社法を制定二十三日勅令を以て公布された

南、本庄兩大將 豫備役へ

【東京國通】待命中の南、本庄兩大將に對し豫備役仰付られた

陸軍大將 南次郎

陸軍大將 男爵 本庄繁

豫備役被仰付（各通）

植村造兵廠長 待命

【東京國通】陸軍では廿二日植村造兵廠長官に對し左の如く待命仰付けられたる旨發令した

陸軍造兵廠長官 中將 植村東彦

待命仰付けらる

陸軍造兵廠長官事務取扱仰付けらる 中將 梅津美治郎

滿洲國皇帝陛下 靖國神社に青銅燈籠を御獻納

【東京國通】滿洲國皇帝陛下には畏くも靖國神社に青銅燈籠一對を御獻納遊ばされる事となり、これが鑄作を拜命した高岡市一番新町銅器商守護辰次郎氏は去る一月中旬から完成を急いでゐたが、漸く完成、皇室の御紋章たる蘭花を中心に唐草模樣を配し高さ一尺六寸の優美なものである

植田軍司令官 哈爾濱到着

【ハルビン國通】植田關東軍司令官は初巡視のため今村參謀副長、坂西參謀その他幕僚を隨へ廿二日午前九時十分着飛行機で來哈、山岡部隊長始め陸海軍將校、佐藤總領事その他官民多數の出迎へを受け宿舍名古屋ホテルに入つた

各機關訪問

廿二日來哈した植田軍司令官は午前十一時ハルビン鐵路クラブに至り山岡部隊長を始め陸海軍武官、佐藤總領事、牛木居留民會長、加藤商工會議所會頭、佐原鐵路局長、郭第四軍管區司令官、尹江防艦隊司令官、施市長、金井濱江省總務廳長を始め各町長等日滿官民の伺候を受け正午同所にて饗食の後山岡部隊本部並に師團司令部を始め在哈各部隊を訪問巡視の上三時宿舍名古屋ホテルに歸還した

伊軍司令部 廿日デッシエに移る

【ローマ廿一日發國通】新聞宣傳省公表＝イタリー東阿遠征軍司令部は戰況の進展に伴ひ二十日デッシエに轉じた

ローマ建都祭 盛大に擧行

【ローマ廿一日發國通】ローマ全市は二十一日建都二六八九周年を迎へ伊エ紛爭開戰以來の盛大な建都祭を擧行したム首相は此日午前十一時半ベネチヤ宮のバルコニーに現はれ數萬の民衆の敬呼に應へつゝ東阿遠征の終局近きを宣言し大要左の如き熱辯を振つた

今日ローマ建都二六八九年に當り我々が東阿遠征に於ける勞苦と勝利の喜を分ちあへるのは欣快の至りである、今や難航は終りに近づき目指す港は指呼の間にある、我々は赴くところ必ず古代ローマの力と正義と文化とを飽くまで宣揚してゐるのである

指定農村計畫 各部打合せ

全滿五十八の指定農村を全面的に向興せしめるため實業部農務司、林務司が主體となり民政部衛生司、警務司、拓政司、文教部禮教司、財政部馬政局の關係事務擔當者が集り廿四日午後一時より日滿軍人會館に於て指定農村計畫各部打合會を開催するが農村協同施設、農村衛生、社會教育、農業金融、及種馬等指定村に關し全般に亘つて協議される筈である

外務辭令

【東京國通】外務辭令は廿二日左の如く發令された

外務書記官 柳井恒夫 東亞局第二課長兼務を免ず

外務事務官 佐藤信太郎 東亞局第二課長事務取扱を命ず

米國新稅制改革法案 下院歲入委を通過

＝下院本會議に上程さる＝

【ワシントン廿一日發國通】アメリカ新稅制改革法案は廿一日下院歲入委員會を通過、直ちに下院本會議に上程されたが、同法案は三月三日のル大統領の教書に基いて立案されたもので、稅制を改革して七億弗乃至八億弗の增收を圖らんとするものである、而して同案中には會社所得に對する臨時課稅加工業者に對する臨時利得稅等の外に外國人及外國會社に對する左の如き新課稅も含まれて居る

一、アメリカに在住せざる外國人がアメリカ國內に於る諸種の財源から受取る所得に對する一割の所得稅賦課

二、アメリカ國內各地に支店を有する外國會社がアメリカ國內に於る諸種の財源から受取る收入に對する二割三分五厘の課稅

三、アメリカ國內各地に支店を有せざる外國會社がアメリカ國內に於る諸種の財源から受取る收入に對する一割五分の課稅

四、外國銀行及保險會社に對してもアメリカ銀行及保險會社と同樣一割五分の所得稅を賦課する

英國議會に於る豫算演說骨子

【ロンドン廿一日發國通】恒例の藏相豫算演說は二十一日午後の下院で行はれた、新豫算は逼迫せる國際情勢から國防の充實を餘儀なくされて居る折柄とて內外の重大關心の焦點となつた感がある、チェンバレン藏相は先づ昨年度（一九三五年—三六年）に於る財界經濟の情勢を回顧して一般經濟界の回復の顯著な事實を指摘したる後個々の數字的說明に入つた、藏相の演說骨子左の如し

一、一九三五年度に於ては臨時支出は豫算に對し一千三百ポンドの增大を示したにも拘らずこれ等總べてを賄つた後尚は二百九十四萬一千ポンドの剩餘を示して居る

一、國債は四百五十ポンドの減少を示した右は爲替安定基金の運用に基くものである

一、豫備金四千萬ポンドは臨時國防費に充當の筈である

一、新年度豫算の特徴をなすものは公債償却の爲に減債基金繰入の一項を設けて居ない所にあり、從つて國債は新年度に於ても依然二億二千四百萬ポンドに据置くものである

察哈爾省紅槍會匪 保安隊を襲撃す

鈴木○團嚴重監視

【承德國通】最近熱河省西南國境察哈爾省延慶縣永寧城附近に紅槍會匪潜入し土民を煽動、紅槍會を結成すべく省境方面の殘匪を糾合、其の數四百と稱せられ、常に保安隊と對峙しつゝあつたが、去る三月下旬保安隊を襲撃、四月十一日再び來襲、交戰四時間にして遂に死體四を殘して撃退された、鈴木○團司令部では國境方面に於る斯る事件の頻發を重視し、其後の匪團の動きを嚴重監視してゐるが、今後滿洲國に累を及ぼさんとするが如き事あらば西南地區防衛上斷乎膺懲する筈である

日ソ漁業條約改訂交渉 二、三日中に再開

【東京國通】日ソ漁業條約改訂交渉は來る五月廿七日の條約失效期の切迫を前にして我方の督促にも拘らずソ聯は極めて消極的態度を持し澁滯、今日に至つたが廿二日大田駐ソ大使より外務省への公電によればソ聯交渉專門委員たるカズロフスキー極東部長も漸く病氣快癒し、二、三日中には交渉再開の運びに至るべき旨ソ聯側より申出であり、交渉は愈々最後の一ヶ月を以て積極的に推進せしめらるべき見込みとなつた、尚有賀漁業組合代表もゴルスゴイ漁業廳長に對し督促を行ひ官民協力してソ聯の善處を要望しつゝあるから近くソ聯より何分の意思表示あるべきものと期待してゐる

日本商品の不當壓迫には 徹底的に應戰

松島新通商局長の第一聲

【東京國通】松島新通商局長は廿一日丸の內中央亭に於る日本貿易振興會席上にて左の通り新通商政策に關し第一聲を放ち對濠洲エヂプト蘭印各會商混亂の折柄內地貿易業界に感銘を與へた

日本諸品の世界進出は各國政府の阻止を受け我等は通商非常時に直面するに至つて居る、之は日本に對する認識不足に依ると考へて居るが、世界何れの國も認識不足どころか日本の事情を知悉した上で、通商を妨害しつゝあるので我が通商政策も此認識を誤まらず確固たる方針を玆に明かにせざるを得ない、勿論市場の開放、通商の自由を主義とする主旨から出來る限りの利益を相手國に附與し互惠的に貿易の增進を圖る方針であるけれども日本商品に不當の壓迫を加ふる國に對しては徹底的に應戰し關稅引上げ國には同じく關稅引上げを以て輸入制限には日本側も同じ筆法を以て官民協力最後迄應戰する事を通商當局として闡明したい

伯國移民制限の緩和 六百名增加さる

【東京國通】昨年一月以來實施されたブラジル政府の外國移民入國制限の結果本邦移民は暫定的に年二千八百四十九名に制限せられ日本農業移民の唯一の開拓地が閉鎖されたがその後帝國政府の制限緩和の工作と實際にブラジルに於ける農業勞働者の不足缺乏といふ實情の爲今後ブラジル政府は四月十六日附勞働大臣指令を以て移民入國制限を緩和した旨澤田在ブラジル大使から二十一日外務省に公電があつた、右により本年度我方割當數は三千四百八十名と決定し約六百名の增加となり從來よりも遙かに多數の邦人の入伯を認められるに至つた

張駐日初代商務官 本日上海發

【大阪國通】國民政府では日支經濟關係の重大性に鑑み今回日本に商務官を駐在させる事に決定、初代商務官として張新吾氏が任命され同氏は廿三日上海出帆の上海丸で赴任する旨在上海岩井商務書記官より大阪商工會議所宛て入報があつた

村井總領事 濠洲政府の反省求む

【東京國通】日濠通商交渉は會商の中途に於て理不盡にも濠洲政府が我人絹、綿織物に對する關稅引上策を決定したことを契機として極めて逼迫した局面を展開し、我關係當業者方面にも俄然强硬論の擡頭するあり、注目されてゐるが、廿二日村井シドニー總領事から外務省に達した報告によれば同總領事は廿日首府キャムベラに赴きガレット通商條約大臣と會見し會商が友好的に進捗し且つ我輸出當業者間に人絹織物輸出自制工作の進められつゝある折柄濠洲政府が之が關稅引上げを聲明するが如きは遺憾であるとの旨を率直に披瀝し緩和工作を行ふと共に我對濠關係當業者方面に於る强硬論の情勢をも參考の爲傳達し、會談を終つたが、ガレット通商條約大臣も事の重大なるを認め閣議に報告し我主張要求に對し近く正式回答を爲すべきを約した趣である、仍つて日濠會商の運命も日埃會商同樣相手國の出樣如何により最後的段階に到達せんとしてゐる

トルコ政府の 非武裝廢棄を確認

―近く正式回答に決定―

【東京國通】去る十三日駐日トルコ大使より帝國政府宛てにダーダネルス海峽條約の改訂を要求、併せてこれが商議を開始したき旨通告して來た仍つて外務當局は海軍始め關係當局との間に協議を遂げた結果、トルコ政府の要求の妥當性を確認し、左の如き回答案文を來る廿四日の閣議に附議諒解を求めた後駐日トルコ大使に正式回答を發することゝなつた

△回答案文

帝國政府はトルコ政府のダーダネルス海峽非武裝條約廢棄要求を承認する

但し右に就き行はれる商議は關係國を滿足せしむる場所、時期及び方法により行はれることを期待する

右の條件添付の理由は該問題を取上げて國際聯盟の下に商議を行はんとするの不合理を拒否し本問題は飽く迄ローザンヌ條約締結國間の交渉に委ねらるべきの至當なる所以を明瞭にしたものである

犬養健氏保釋出所

【岡山國通】去る十五日選擧違反により岡山刑務所に强制收容された政友會代議士犬養健氏は二十一日夕保釋出所を許された

海村理事官赴任

民政部警務司特務科長より濱江署警務廳に轉出した海村圓次郎氏は廿三日午前九時新京發赴任した

李王家美術館建設

【京城支局發】李王家では同家が永遠に保存すべき建築物で而も我が京城府の都心として極めて重大な地域にある德壽宮內に近代樣式建築の粹を誇つてゐる石造殿に接續し李王家美術館を建設し朝鮮古美術品を蒐選陳列して新美術の大殿堂たらしむべく計畫成り、李王職で本年度にこれが建築に着手すべく既に諸般の準備全く整ひ愈よ近く起工することに決定、十四日午後これが發表を見た

航空往來

▲井野原邦氏（會社員）二十二日午前奉天へ ▲高山平次郎氏（會社員）同 ハルビンより ▲竹野數馬氏（同）同 ▲木伏定太郎氏 同 ▲高畑義彦氏 同 ▲村上正彦氏 同牡丹江より

哈市在住の 邦鮮人增加す

【ハルビン支局發】當市在留邦人數は漸時增加の趨勢を辿りつゝあるが當地總領事館警察署の調査による三月末現在數は內地人戶數七、五四〇戶人口二八、八三九人、鮮人戶數一、四四六戶、人口六、三四九人となり二月末に比し邦人四三五人、鮮人六十七人の增加を示して居る、尚各區に分別すれば左記の通りである

（內地人）

區	戶數	人口
埠頭區	[illegible]	[illegible]
新安埠	[illegible]	[illegible]
新市街	[illegible]	[illegible]
馬家溝	[illegible]	[illegible]
舊哈爾濱	[illegible]	[illegible]
顧鄉屯	[illegible]	[illegible]
傳家デン	[illegible]	[illegible]
三棵樹	[illegible]	[illegible]
太平橋	[illegible]	[illegible]
松浦	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

（鮮人）

區	戶數	人口
埠頭區	[illegible]	[illegible]
新安埠	[illegible]	[illegible]
新市街	[illegible]	[illegible]
馬家溝	[illegible]	[illegible]
舊哈爾濱	[illegible]	[illegible]
顧鄉屯	[illegible]	[illegible]
傳家デン	[illegible]	[illegible]
三棵樹	[illegible]	[illegible]
太平橋	[illegible]	[illegible]
大憂哈	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

第三回新京野球大會

日時 四月廿五日開始

場所 西公園球場

主催 新京日々新聞社

後援 西山運動具店

社説　滿洲國の農業政策　全農民の協同組織へ

一

第二期の經濟建設段階に這入つた滿洲國では、新しい農業政策要綱を發表した。その内容は、農事各般の試驗機關の整備充實、各縣への農事指導員の配置、產業調査局を中心とする基礎調査の完成、農林技術員養成所・講習會等による農業指導者の養成、農業氣象觀測網の完備、地方勸業施設の充實　各縣一村の建設を目標とする模範農村の建設計畫、特產中央會をしてなさしむる特產物の販路擴張等のパライエテイに亘る巨大なプランである。滿洲現下の農業關係の主要な課題は、殆んどが茲に盛り込まれてゐるのをわれらは發見する。ただ、これらを滿洲國内のみの問題としてでなく、世界經濟の一環としてこれを見るときに、滿洲農村の現に持つ種々なる遲れたる社會關係は、農業恐慌の深刻さを深めてゐるのだが與へられたプランが果してどれだけの程度に、またはどのやうにしてやはらげ救ひ得るであらうかは今後に殘された問題である。

二

プランのうち、特にわれらの注目に値ひするものに、農業者の團體組織化と摘記して示された一項がある。それは全國的に農會の改組を行ひ、縣農會を單位とする農民團體を組織し・更にこれと並行して保甲並びに區村制の確立するに伴ひ、これに相應した簡易な協同組織を取らしめるといふのである。そして、農會は政府の指導を直接農民に徹底せしめるとともに、政府に對する側面的協助者として、農家の經濟向上の斡旋共同事業の指導をなさしめ、將來においては綜合的な農業團體の組織に向はしめやうとするのである。これは滿洲國官邊によつて、はじめて公式に發表された農民組織の基幹的テーゼであり、滿洲國の獨自なる經濟・政治の特質を結晶せしめて把握されねばならぬとわれらは考へる。

三

この農民組織の方向と相照應して、農業同復金融斡旋に於ける從來の春耕資金を縣償としての堅實化、この場合その返濟方法を改善し資金の枯渇、青田賣買、高利貸借等の是正に注意を拂へること、また農業倉庫を各地に設置することによつて、新しい金融の途をひらかしめ、以つて農家の賣急ぎ、青田賣買を防止し機構の合理化と販賣の斡旋によつて運銷の改善を圖らんとしてゐる事も注意さるべきである。一九三六年の滿洲國は外よりの壓力に對抗して興隆しゆくためには、何よりも先づ國内に於ける團結とその基礎確立を必要とする。滿洲農業の繁榮へ、その農民を打つて一丸とする協同へ―政策は強力に推し進められねばならぬ。

注視の的外蒙事情 (十二)
外蒙の變遷と　ソ聯邦の外蒙侵略

四、其後の進展概要

之より先、國民革命黨は建封制度の根絶及び奴隸制度の廢止並に小國民議會の召集、君主活佛の權限、政府および大小國民議會の權能等に關する建國綱領を宣言し、九月政府は小國民議會は先づ政府の施政方針を追認し、次いで一切の舊法律を撤廢して新法律を制定すること、及びソ聯の指令に基いて蒙古と支那との舊關係を清算し、對等的新關係の樹立に關する調停方をソ聯に依賴することの議案を可決した、一方ソ蒙兩者間には一九二一年十一月モスクワに於てソ蒙修交條約が調印され更に翌二二年ソ蒙電信協定の作成を見、本協定は二三年初頭相互に確認した、越へて一九二六年十一月外蒙政府は、ソ聯の斡旋にてツウワ人民共和國(唐努、烏梁海)と修交條約を締結し相互にその獨立國たるを承認した、一九二四年五月活佛遷化するや國民黨は君主政體を廢し、ソヴエート政體の特質ともいふべき「大統領なき共和政體」を採用するに決し、元首權行使の權能を大國民議會に附與した、斯くて同十一月庫倫に於て外蒙古最初の大國民議會が召集され、左傾派の巨頭ヂヤーダンバを議長に推した、本議會は開會の劈頭首都庫倫をウランバートル、ホタ(赤色英雄の都の意)と改稱した、次いで「外蒙古勞働國民權宣言」を決し、更に憲法を制定發布し土地の國有、外國貿易の國營身分制の廢止其他を定めた、次に資本主義の否認、僧侶王公の財產沒收、農業生產組合の設立、コルホーズ創設および蒙古社會主義經濟建設五箇年計畫、およびラマ教撲滅計畫が決議、採擇され、軍政方面に於ては一九二九年ソ聯の軍事顧問によつて軍政改革が行はれ、一九三三年には大規模の軍事施設がソ聯の強要によつて着手された、他方過激に失せる第六回大國民議會採擇の二大施設方針は、ラマおよび住民一般の反感を招き、一九三〇年ウランコマルに起つた暴動を發端として、國内隨所に暴動を見るに至つたので、三四年末の第七回大國民議會では、宗教制限案並に農牧の個人經營を容認し、コルホーズ強化政策に手心を加へる等、政策の退抑を餘議なくされた

オリムピック　スキー選手參拜

凱旋したオリムピツクスキー選手一行は十八日午前十時明治神宮に參拜した(寫眞は參拜のスキー選手一行)

「エヂプトに誠意なく　日埃會商危機に立つ　民間代表引揚げか　綿工聯は代表に歸還命令

【東京國通】開始以來幾多の難關に逢着し來つた日埃會商は愈よ最後的局面に到達したが、廿日兩國代表部が會見を行ひ笠間代表より日本側の最後案として次の如く提案した

エヂプト向け日本綿製品の輸出額と日本のエヂプト綿花輸入額とをリンクせしめる

之に對しエヂプト側は回答を避け再開を約して會見を終つた、斯くて日埃會商はエヂプト政府の回答如何によつて決裂か妥協か或は交渉の再開かといふ重大危機に立つに至つた、一方我民間代表部では會商開始以來七ケ月を經た今月に至るも無謀な提案をなさんとするエヂプト側には協定成立に對する誠意全く無いものと認め、民間代表引上げ如何の請訓を爲し來つたが我當業者は第二回會商の兩開を控へて居る事とて徒らに妥協的に出る事は其背後にあるイギリスをして益々乘ぜしめる由因であるから此際大局的の立場よりみてエヂプト市場を放棄しても飽く迄主張貫徹を圖るべしと極めて強硬態度を取つて居り、綿工聯では廿一日其代表に歸還命令を打電したが近く民間代表全部の引揚げをもみんとして居る

在留地壯丁　豫備檢査　來る廿五日

新京警察署兵事係では管内在留壯丁にして徵兵身體檢査受檢出願者に對し三月十四日その第一回豫備檢査を施行したが爾後の出願者に對し來る二十五日(土)午後一時より同署講堂及會議室にて滿鐵醫院吉村醫長外一、二氏の「トラホーム」檢査、健康診斷、衛生講話を實施、兵事主任から受檢に關する種々の注意あるので通知洩れの者も是非參集して欲しいと、なほ檢査の出願は三月三十一日迄であるが假に止むを得ない事情の者に限り本籍地の檢査一ケ月前なれば許可さるゝのであるから一應兵事係に出頭係員から細部のことを確めて一日も速く手續をとられたいと

肝川神政龍神教　彈壓さる　滿洲各地に手配

關東局に於ては曩に大本教及び同教一切の團體に對し日本と相呼應して一齊禁止彈壓を加へたが、今回更に兵庫縣川邊郡中谷村に本部を有する「肝川神政龍神會」と稱する大本教類似の邪教を發見、捜査の結果大本教義以上の不逞教書多數を押收、十九日日本に於ても一齊彈壓を加へたが滿洲國内に於ても邦人間に相當の信者がある模樣なので、二十日關東局では全管下警察署に對し嚴重捜査方を電命した、該教の發端は大正元年小澤友吉なる者が大本教の布教師として兵庫縣川邊郡に入り布教中信者の一人たる車末吉なる者の妻が突然痙攣を起し爾來大本教の教義を唱へる度に不可思議なる痙攣狀態に陷り以來神がゝりと稱しお筆先なるものを表したるに端を發しここに前記車末吉は妻のお筆先を利用して大正五年肝川神政龍神會を創立自ら會長となり現在日本内地に於て政界、學界、財界等より知名士を網羅した數百名の信者を有してゐるものである

「雪の討匪行」　近く公開

軍政部委囑映畫

軍政部では幾多の輝かしき戰績を擧げてゐる滿軍の活躍狀況を一般に知らしむべく松竹映畫會社をして東寧方面に於ける靖安軍の討匪狀況をフヰルムに納め大船撮影所に於て編輯製作中であつたが、この程完成、一兩日中に着荷する運びとなつたので「雪の討匪行」全二卷として近日中に情報處に於て試寫した上一般に公開する事となつた、從來この種討匪行の映畫は皆無なので多大の興味をもつて期待されてゐる、尚ほこの外軍政部では同じく松竹社をして滿軍の中堅指導部隊の卵とも云べき吉林訓練所生の訓練教育狀況を撮影製作中であつたが之も近日中に完成する運びとなつたので近く「吉林憲兵訓練所教育狀況」全二卷として公開する筈である

丁香廬漫筆 (九六)

絶對個人主義

白樂天の句に『夜長似歳觀宜盡。醉未如泥飲莫休』といふのがある、古來痛飲は支那の詩人文士が最も愛好する語の一であり詩文小說の中などには相當多數の醉ぱらいが居つて活躍してるのであるが、さて現代の支那は如何かといふとそんな泥醉者は一人も居らぬ少くとも一人も見付からぬ

×

余は南北支那で三十年以上も暮し其點では日本人よりも支那人に近いのであるが此の長い滯在中都會でも田舍でも曾つて一人の醉ぱらいに出くわしたことが無い、自分の狹隘な經驗の爲めかと思ひ先輩知己の老支那通に訊ねて見ても同樣である、そんなら支那人は酒が嫌かと云へばそうでもない相當好きな連中が相當多數居る、而して酒豪も多數居る曾つて初期の安東採木公司に勤めたことのある友人の横山吏弓君(今は故人)が或時支那人の方が寧ろ日本人より酒に強からうといふ話から酒好きの木把(木材伐採に入込む苦力)が數個月鴨綠江上流で働いた後やつと安東の街に出て來るといきなり酒店に飛込んで例の一升以上も這入る五郎八茶碗に高粱酒をなみ／＼と注がせ息をもつかずにぐつと呑乾しホロリともせずたく歸つて行く、日本の桝酒など脚下にも寄り付けぬ、實に偉い奴が居ると相當強酒の御本人が舌を捲いての話であつたから未だによく記憶に殘つて居る、いづれにしても飲むには飲むが決して泥醉の醜態を演ぜぬといふのが支那人の特長であらう。

×

獨逸には三年程しか居らぬが此は亦實によく醉ぱらいに出會した、伯林の夜遲くごちごち醉ふて歸る途中共同便所に立寄ると大酩酊の先客が必ず一人位は居る、小さい外國人ではあるが獨逸人並に永小便をやる奇特な奴とでも思ふのかもつれる舌で先方から話し掛けたりする、小便の濟むまで他愛の無い會話が續く、やがて濟むとまんさんとして出て行くがあれで無事歸れるかしらと思ふ位である。イースターの休日であつたか或は其後の日曜であつたか友人の獨逸人夫妻四五人と例のアウスフルッグ(日本にて近年流行のハイキング)に出掛けたことがある終日伯林郊外の若葉の森林を彷徨ふて夕方湖水を渡つて歸らうとすると今出たばかりの小蒸汽の甲板でへべレケに醉ぱらひ恐ろしく友人連に面倒をかけてる男が居るよく見ると大に力み返つてこんな湖水が何んだ泳いで見せると云つたやうな大氣焔を揚げてるらしい、而してあつと云ふまに友人の手を振切つて着の身裝の儘でざんぶとばかり物の見事に飛込んだ。滿員の乘客も岸で待合はしてる連中も驚くかと思の外拍手こそせぬがやつたやつたと云ふて愉快そうに眺めてる、一種のエンカレージである。イースター祭日頃は新綠の始まる好季節ではあるが水は相當冷たい、いくらエンカレージされてもそう飛込む者もないが兎に角面白い國民性と云ふてよからう。かく多數の醉ばらいに接するに從ふて米國の絶對禁酒英國の販賣制限など成程と首肯さるゝ次第であつた。

商況欄 (四月廿三日後場)

金銀市況

●上海標金　前引 一一四三、〇〇　後寄 [illegible]　步 [illegible]

●大連金鈔票　寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]

▲四月限 / 五月十三日限　寄付 [illegible]　步 [illegible]

●大連鈔票銀大洋　現物 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替　▲日本向　第一回賣 [illegible]　▲倫敦向　第一回賣 [illegible]　▲紐育向　第一回賣 [illegible]

▲大連爲替　▲上海向　第一回賣 [illegible]

株式相場

▲大連株式(短期)

品名	寄	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式(短期)

品名	寄	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲横濱生糸　前場寄 / 後場寄

現物	[illegible]
當限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大連麻袋　三八綫

現物	[illegible]
四月限	[illegible]

各地特產市況

●大連　大豆 / 豆粕 / 豆油 / 高粱

限月	寄付	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

新京取引所市況

品名	寄付	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

手形交換高 (二十二日)

[illegible]	[illegible]

鮮魚小賣相場 (百匁に付)(二十二日)

品名	最高	最低
[illegible]	[illegible]	[illegible]

野菜小賣相場 (百匁に付)(二十二日)

品名	最高	最低
[illegible]	[illegible]	[illegible]

南滿

日本生産品の代理販賣會社設立？

日滿商取引の合理化を期す

【奉天國通】從來滿人側各商工業者と日本內地生産業者との取引決濟方法は代金引替へ及び爲替手形等を利用して居るが、最近滿洲國側有力者間に於て日滿商取引の合理化を圖るため大規模の株式會社を組織し日本生産品の直接代理販賣をなすべく計畫を進めてゐる、即ち過般奉天市商會に於て奉天、新京、營口、吉林ハルビン、龍江の各商會長及びその他有力者二十餘名が參集し資本金百萬圓の新會社を設立、本店を奉天に、支店を新京、營口　龍江、吉林、安東並に大阪に設置する事に意見の一致を見たので、目下鋭意開業準備を進めて居り近く具體化するものと期待されてゐる

日露戰史に偲ぶ　旅順閉塞記念日

五月三日盛大に擧行

【大連支社發】日露戰役後に際し露國東洋艦隊を旅順港內に封鎖し海上權を制覇せんとして二月中旬、三月二十七日五月三日の三回に亘つて勇敢なる閉塞作戰が行はれ遂に其目的を達すると共に廣瀨中佐其他華々しき勇士の功を戰中に殘して早や三十二年旅順要港部にては五月三日第三回閉塞記念日に記念祭を施行すべく原參謀長を委員長として各幕僚久宗驅逐隊司令、東鄉港務部長外多數士官を委員として着々準備を進め來る五月三日を以て勇士の英靈永へに眠る港口を眼下に見下す黃金山上に於て最も最肅莊嚴に執行することとなつた

當日は記念祭典後十一時より港口に於て閉塞模擬戰を行ひ十一時五十分から實戰參加者の講演あり大連放送局では之の情景を全國に向つて放送することになつてゐる、午後零時半からは水交社において旅大官民約三百名を招待して記念祝宴が催され同一時半からは港務部土俵で海軍の相撲もある此の外二日三日兩日間は午前八時から午後四時迄港務部兵舍に於て閉塞隊關係の展覽會、陸岸横つけの球磨、淀羨、萩、菊の一般參觀を許し驅逐艦に百名宛便乘を許可する豫定である

大豆産出狀況視察のため　バルド氏來滿

【奉天國通】滿洲國の大豆産出狀況視察の爲め、チエッコスロヴアキアよりローザーグルン・バルド氏が派遣され十九日滿洲里經由來滿したが、同國はドイツ同樣バーター制の採用を希望してゐる模樣である

南攻驛犠牲者の葬儀に　三代表南下

【奉天國通】南攻驛匪襲の際名譽の戰死を遂げた戸田助役以下五名の驛員の葬儀に列席の爲め奉天鐵道事務所より石村事務所副所長、高澤庶務課長、伊奈事務所主任が代表として午前七時發列車で本溪湖に向つた、尙ほ郡山滿鐵理事山口鐵道部次長は午前八時二十分着列車で來奉、同十一時四十分發「ひかり」で南下葬儀に參列の豫定である

省公署統計事務講習會

【吉林國通】吉林省公署に於ては官廳事務に於ける各種統計の重要性に鑑み來る五月四日、五日、六日の三日間省公署會議室に於て在吉各機關より聽講生の參集を求め統計事務講習會を開催する事となつた、而して講師には中央國務院統計處、民政部、財政部よりその道のエキスパートを招聘する事になつてゐる

吉林市政公署　屠宰料制定

【吉林支局發】吉林市政公署に於ては屠宰場の新築擴充に伴ひ屠宰料を制定すべく當事者側に於て寄々檢討中のところ大體要綱の草案作成を見たので近日中に之れが規定に基づき屠宰料を徵收することゝなつた

吉鐵、牡丹江に　出張所開設

【吉林國通】牡丹江の驚異的發展により、且つ又圖佳線の要衝として現在の吉鐵牡丹江監理所では諸般の業務遂行に兎角支障を來しがちなる爲、吉鐵では之を擴大して來る廿五日より吉鐵牡丹江出張所を開設し土木、線路、建築其他の業務遂行に遺憾なからしめる事となつた、因みに出張所長には監理所長松尾正三氏が昇格就任した

吉林鐵路局の　乳兒審査會

【吉林支局發】可愛い赤ちやんの健康增進を圖ると同時にお母さん達にも愛兒智識を普及せしめやうとの主旨から吉林鐵路局にては左記により吉鐵從事員並に一般市民の赤坊審査會を催うすことゝなつた尙ほ近く滿人側に對しても之れと同樣の催しがある筈と聞く

一、會長－西川副局長
一、審査員－神代副處長齋藤東洋醫院長、伊藤小兒科醫
一、審査日－五月一日二日於東洋醫院小兒科
一、資格者－自昭和十年五月六日至同十一年三月五日出生兒
一、賞狀及び賞品授與－五月五日午後一時於吉鐵四階會議室
一、講演會－賞狀及び賞品授與式終了後、同所に於て齋藤醫院長、伊藤小兒科醫の幼兒の健康に關する講演
一、其他－幼兒の營養獻立表配布

昭和九年以降の　棉花共同販賣高

【京城支局發】昭和十年産棉花共同販賣は咸鏡南北道を除く十一ヶ道で行はれ黃海道を除く各道共既往になき大增加を示した、即ち昭和九年以降十一年三月末に至る期間、前記十一ヶ道の共同販賣高は實棉一億七十九萬六千九百四十一斤、價額一千七百八萬三千三百二十一圓(百斤當平均十六圓九十五錢)繰棉一萬三千九百五十六斤、價額七千四百六十六圓(百斤當平均五十三圓五十錢)で之を前年に比すれば數量に於て實棉四千六百二萬四千五百廿八斤、繰棉九千五十二斤を增し價額亦數量の增加と上繰棉の出廻歩合多かりしため實棉七百七十四萬五千四百四十六圓、繰棉四千八百九十九圓、總計七百七十五萬三百四十五圓を增加した

朝鮮金融機關　二十日より一齊に利下

【京城支局發】京城組合銀行をはじめ朝鮮貯蓄銀行、朝鮮信託會社、朝鮮金融組合聯合會の四金融機關は廿日より一齊に定期預金四厘、日歩預金各種一厘、その他特殊ものは既報の如く夫々利下を實施した、尙地方における組合銀行その他も京城に順應實施するはずである

安東の都市計畫　郊外東坎子より着手

四ヶ年繼續七十萬圓を以て

【安東國通】安東に於る都市計畫は來年十月頃附屬地の土木港灣水道施設の移讓を俟つて一括して行はれるが、之に先立つて安東郊外東坎子に本年度より四ヶ年繼續七十萬圓を以て都市計畫を行ふ事となり、本年度工費十萬圓の起債に就て認可の運びとなつた

航空會社自動車　醉拂ひ事故

【大連支社發】滿洲航空會社乘客送迎用自動車運轉手中村與四郎(二六)は十九日午後五時過ぎ乘用馬車に追突滿人乘客一名即死馭者重傷の交通事故を惹き起したが右は中村が強か銘酊の上超スピードで泉水子へ歸還の途慘事を惹起したもので此種事故の續發を憂へ沙河口署に於ては嚴罰に處する意向にて同人を留置取調中である

道路上の電線に照明燈を架設

經費積り鈴蘭燈は沙汰止み

【吉林支局發】ユウトピア吉林に相應しい明るい商店街を出現せしめやうとの見地から電業公司吉林支店に於て昨春計畫せる吉林驛から新開門に至る商店街の街路照明燈(鈴蘭燈)建設問題は其の後經費の關係上遂に暗礁に乘り上げ可急的速かな實現は現今の吉林では不可能視される形となつたので、同電業公司支店に於ては今回前のそれとは全然等つた照明燈を建設すべく目下研究を進めてゐる、即ち從來各都市に於ける街路燈は殆んど全部が莫大な費用を要する爲、其の負擔に堪へ得ないのみか道幅が狹いため街路樹に禍され明るさに影響を及ぼすであらうとの見地から道路上の中央に電線を通じて一定の間隔を置へて照明燈を架設しやうと云ふのであつて比較的經費を要しない點と明るさ本位の二點から考案されたものである

春陽のひさし……

滿洲國軍訪問記(四)

燃ゆる犠牲的精神に國軍の意氣揚る

ハルビンにて　杉原特派員

翌日午前八時、記者は貨物列車に便乘して珠河に向つた此處には歩兵第○○團本部がある、恰度黑岩教官も來て居て宮前上尉に紹介される

第○、○營とも十日以來密蜂一面坡南方地區掃蕩に引續き大靑山方面に出動して昨日歸還したばかりで、更に明朝は第三次出動と言ふので團本部は息詰る緊張味を漂はせてゐる、戰鬪狀況や匪團の動靜は次ぎ次ぎに地圖の上にマークされてゆく

折柄五常方面に出動中の鄭旅長が歸つて來たので通譯付で面會する日本人そつくりな五十格好の肥つた好々爺である

「一面坡司令部にお訪ねしたが相憎く出動中で殘念に思つて居ましたが」と挨拶すると愛嬌よく

「廿二日午前三時頃帽兒山方面から三ヶ部隊を率ゐる五常方面へ出かけました、途中三回も匪賊に遭ひました捲合一週間許りの間に交戰回數六回、敵の遺棄死體八〇、小銃一七挺を鹵獲し相當の成績を擧げました、幸に我方損害なし」

と甚だ要領がいゝ、明日また天寶鎭方面へ出動だと言ふ、老軀を提げての活動で、記者の感慨また無量である、そこで妻子のことを訪ねると

「家族は一面坡に殘してゐます、男の子一人女の子三人居る」

と言ふ返事で、南部線列車顛覆事件の際の手柄話を持ち出すと「好々」と肯いて思ひ深げに當時の狀況を語るのであつた

×　×

こゝで宮前上尉が語る最近の戰鬪美談を記してみやう、それは今日の滿軍を理解する上から多分の示唆に富んだものである

三月十八日、情報を受けた烏吉密駐屯第○連長杜魁武上尉は部下四十五名を三股流方面に出動せしめた、部隊は折柄集團部落建設の爲め燒却部落の穀物搬出に向ふ農夫三百名を護衞して出發したのである、(滿洲工作の爲め燒かれた部落には積上げられたり雪に埋沒したりして尙多くの穀物が殘つてゐて、これが匪賊の足溜りとなるのだ)やがて部隊は現地に到着し、穀物の積載は終つた、が匪賊の影は何處にも見えないまさに歸路につかんとした時である突如前方の高地から一齊射擊を蒙つた、動搖する農夫を押し鎭めて部隊は應戰したが、匪團はぢり押しに迫つて來る今は全く敵の重圍に陷つた

一方午後一時頃この情況を司令部で知つた杜連長は思はず「しまつた！」と叫び、直ちに部下十五名を率ゐて救援に馳けつけたが途中またしても敵擊に出會した、遙か十五支里の彼方に銃聲が聞える、それは味方の苦戰を告げてゐるのだ、午後三時頃になつて漸く兩部隊は合することが出來た、しかし敵は益々募る許りで我に數倍する兵力である、敵は高地占據し、味方は僅かに包米の麻袋を障壁に應戰してゐる、かくて夜に入り杜連長は自ら部下二名と共に決死の突擊を敵陣に試み一方の血路を開いて漸く敵を擊退する事が出來たのである、この戰鬪に於て敵の遺棄死體は廿名の多きに達し我が孫少尉は悲壯な戰死を遂げ兵一名負傷してゐる

そこで宮前上尉は次の如く講評する

「討伐隊は三百名といふ農夫の護衞で、戰鬪力を阻害されながらも良く防戰し、然かも農夫に一名の負傷者も出さなかつたといふことは全く奇蹟的のことであるが、農民護衞の責任感こそ兵をして死鬪せしめたもので、國軍の有する犠牲的精神の顯著な發露と見られる此精神の涵養こそ國運の將來を約束するものである」

×　×

夕方騎兵○團の羽場中尉が出動の途次立寄つて、次のやうに話して行つた

「近頃滿軍の間に漸く國軍意識が昂揚され兵は自覺して來ました、「こちらは軍隊だ向ふは匪賊ぢやないか二倍三倍だつて何だ」と元氣なものですまた今まで日本軍が何のため來てゐるか知らなかつたらしく、それがやつと判つて來て『匪賊の討伐なら俺たちがやらねばならぬ』と言つて日本軍が戰死者を出すと迚も氣の毒がり、僕たちの氣附かない時でも遺骨の見送りなど一々知らして與れますと

純朴な兵たちは一旦信頼すれば絕對に服從して來るので、日系軍官の身邊を案じることは非常なものだと聞かされた

家庭

幼い子供の質問は大切な知識の泉

決して叱ることをしないで正確に教へなさい

四ッ五ッ位の子供には、見るもの聞くものいちいちが珍しく感じます、それはすべて子供にとつては新しい經驗だからであり又自分自身にはこれは何んであらうと考へるだけの智力がないために、父母にでも誰にでも自分の周圍にゐる人をつかまへてこれは何？あれは何？の質問を連發するのです。

しかしその答へを得れば、得た答へについてその不審な點を又更に質問するので、ひとつ〳〵答へてゐた日には際限がないのみならず「太陽は何で出來たか」「星の數はいくつ」などといふやうな、相當學問のある人にも答へられないやうな質問を出して來るものですから、ある親は「うるさい子だね」とおこり、「子供のくせに生意氣なことを聞くものぢやない」などと叱りつけて自分の答へられないのをごまかさうとします。或は又デタラメなことを教へて子供を

退却させたりなどしますが、この樣な質問は子供の旺盛な知識慾の發露であつて、未だ何も入つてゐない美しい腦裡へこの際に印象された知識は非常に重要であるばかりでなく、萬一異なつた事を教へると、それがいつまでも取去られないで困るのです、或る學者は「幼兒期の一ケ年に覺えることは大學で數年間學ぶ以上に多い」といつてゐます。幼兒の質問には正確な答へを出來るだけ根氣よくしてやつて頂きたい。もしうるさければ言葉もやさしく今は忙しいから後で教へてあげるといふやうに、決して

子供を叱らないことです。たびたび叱れば子供の方でも質問することはよくないだらうといふやうな考へを段々もつやうになり、知識慾はありながら、質問しないため知るべきも知らずに、貴重な時間を空費し或はその代りによくない事を覺えたりもします。それから又、子供のポケットや着物のアゲの中、机の抽出の中などには紙キレや、石コロや、貝殼等大人から見ればとてもつまらないものの

澤山入つてゐるのを見かけます。一見いかにもきたならしいので「なぜこんなきたないものばかり集めて來るのですか」と叱つて捨ててしまふ方もありますが、それは大人の目にはつまらなく見えても、子供としては自分の知識慾から苦心の採集物なのですから危險なものとか、餘り邪魔にならないものゝかぎりよく整理してとつておかせるのがよいのです。

ドレ、借リタマツチデ一服ヤルカ 自分ノハマツチハシマツテオイテト

サア、貪ヱ人ニ追ヒ立テヲクワスカ。アイツラノ泣キツラヲ見ルノガ面白クテナラヌ。ヘッヘッヘッ

オヤ 何ダ！

噴油ダ！シメタゾ！役場ヘイテツテ此地所ノ持主ハ誰ダカシラベテヤロウ

とても素晴しかつた 何んと羨やましいですね 昔の女の勢力

モガさんもハダシ！

◇**昔は** 女の權力と云ふものがテンから認められてゐなかつた樣に考へられてゐますが、なか〳〵さうではありませんでした。家庭内に於ける女の勢力と云ふものは、大したもので、今の主婦方なんぞどうして〳〵及ぶところではありません。一體江戸時代の御夫婦は、今の樣に相たづさへて外出するといふことは全然ありません、年をとつて隱居になつて了へば別物ですが、夫婦が共に外出する場合には、妻の方が夫のお供の樣にみえるからきつたとの事で、たとへ同じ所へ行くにしても別に行つて行先で落合つたものでした、そして相當の

◇**家庭**では、夫は夫の供をつれ妻は妻の供をつれて出かけます。又夫の權限はその居間と客間位のもので、他のすべては妻の勢力範圍です。女の召使は夫の力でどうすることも出來ないもので、妻の許しがなければどんなに自分の嫌ひな召使ひでも解雇することは許されません。又奥向きの品物についても、妻を通じてでなければ全然家長の自由にはならなかつたものです。夫が妾を蓄へ度いと思つても、先づ妻に相談してからと云ふことで大ていは妻の使つてゐる召使ひのうちから、妻の許しを受けて頂戴します。夫があの女を

◇**妾に**欲しいといふ、妻が嫌やだといふ、こんなところからお家騷動なるもの端緒が開かれたものの樣でした。又女が保護されたことも、非常なもので、お大名行列の際でも、男は土下座をしても、女は疊の上に座つて頭だけ下げて拜んでゐればよかつたのです。裁判などでも女に限つて豫審をくつがへしてもよいと許されたのです。家財を沒收される樣な場合でも女の持物に限つて許されたものです。ですから江戸十代の嫁入道具といふのは分不相應に大形な物でした。これは非常時の用意になるのです。小判にして持つて行つたのでは一見して、女房の物であることが判りませんが、物や道具の場合は明瞭ですから、この習慣が維新後迄續いたのですが今では徒らに多い嫁入道具など意味のないことです。

今日の話題

△廿三日例祭のある神社は高岡市の國幣中社射水神社と佐渡ヶ島の國幣小社度津神社です。

△維新回天の事業中の大悲劇京都伏見寺田屋事件は文久二年四月廿三日であります。

△蒸汽船によつて始めて太平洋橫斷を遂げましたのが九十八年前の西暦一八三八年四月廿三日で、グレート、ウエスタン號は十五日目のこの日ニユヨークに到着したのであります。

△イギリスの文豪シエクスピヤは西暦一五六四年のやはり四月廿三日に生れ、故郷の土にかへつたのも一六一六年の同じ日でありました

行樂の春 外出時のお化粧 先づ地肌を整へよ ▽……香水を忘れずに

春は お花見をはじめピクニックにスポーツにいろ〳〵外出の多い時で自然が植物に花を咲かせるように動物もお化粧してくれるのですが、皮肉なことに人間はニキビが出來たり吹き出物がはれたりいたします。然も、行樂が多いので、美しい上にも美しくありたいのは、誰方も同じお望みかと思ひます、そこで、お化粧ですが、春はほこりがたつところへ、脂肪が浮き易いので厚いお化粧は避けなければなりません、地肌を整へることを第一にして、コールドクリームはいつもより分量を少く

脂性の方でしたらバニシングクリームを少し、先づ地にひいて、オークル色のグリスペント「ドーラン」を掌でのばしこれも何時もより薄めに顏にうつしパフでぽん〳〵とたたくようにして、明るい肌色がオークル色の粉白粉をつけ、頰紅、口紅は、これも明るいオレンヂ色を、いつものことながら、ごく自然につけます。眉ずみ、アイシヤドウの類も毒々しいと云ふことのないやうな自然に明るくつけたいものです、春の髮は、これも埃ぼつくなるので、よく洗ひ、きついウエーヴをさけて、ごく柔く、チツクか

艶出しで幾分のツヤを添へるのも結構です。造花を挿したりするのは重くるしく、やはり埃ぼつくていけません。髮飾はないのがよいと思ひますが、さすなら冷たい感じのものたとへば鼈甲、ひすゐ等がよろしいでせう。春さきは、手さき耳たぶ、耳の孔、鼻の孔など今まで忘れてゐた細い場所の汚れの著るしく目立つ時なので、手さきにはマニキユアを、耳たぶ、耳の孔、鼻の孔などは、マニキユアーのオレンヂステッキに脫脂綿を卷きオキシフルかレモンジユイスでお化粧の度にお拭き下さい。

外出にはお好みの香水をお忘れなく お歸りになつた時、お寐みの時はお顏の埃と脂を綺麗にする事をお忘れなく。

お料理獻立 平目と蕗の芝蒸し

これは平目を中に包みまして外皮を蕗でかこひました恰度芝かりの荷のやうな形、季節向きのお料理でございます

【材料】(五人前) 平目又は代用の魚百匁、ほうれん草十匁、干瓢五寸長さ十本、蕗中位一把、鹽、みりん、片栗粉、醤油、調味料(各々少々宛)

平目をこそぎ、ほうれん草のゆでゝ細かに切つたものとまぜ、鹽みりん、調味料で味をつけ、十に分け一寸五分切の蕗をゆでゝ割つたもので包み干瓢で結び、十分蒸し、片栗のあんをかけてすゝめます。

內地旅行便り 新京高女旅行團(十二)

宮下―熱海(下) ＝四月十日＝

間もなく左方の窓に、三個の石塔の見える處に來た。車のスピードを落して、「これが曾我兄弟、虎御前の墓でございます」と云ふ說明に皆の瞳は一せいに左の窓外にそゝがれる、次にあらはれた二十五菩薩、道の左側に三體、右に二十二體共に大岩にきざまれた弘法大師のお作ださうである。こゝをすぎる頃から道は少しづつ下りはじめ、湖畔自動車專用道路を左に折れて、人家の散在してゐる小部落に車は止つた。元箱根である。バスから降りると、雨がパラ〳〵とオーバーにかかる。少し風がうすら寒くてオーバーの衿をかき合せる人もあつた。間もなく停留場から四丁程先の箱根權現へ參拜した。霧の深くたれこめた芦の湖畔。小波が石垣にひた〳〵と寄せてくる。天氣がよければ、富士の嶺が、空と水とにくつきりとあらはれてえも云はれぬ眺めとの事。だが、春雨にけむる霧深い山水の景も亦格別のものだ。燈籠と櫻の交互に並んだ白い道を相合傘をつらねて、大きい杉の生ひ茂つた神々しいお宮にお參りする。寶物殿には國寶とされてゐる歷史的な遺物が硝子棚の中に入れられてゐた。うす暗くてしめつぽい感じのする建物は、こうしたものを安置するにむしろふさはしいとさへ思はれた。熱海行のバスは權現から歸ると、すでに四台並んで待つてゐた。車が進みはじめると間もなく年經た杉並木道に通りかかつた。これが、バスガールの說明によると、有名な舊箱根街道で何れも三百年以上の歲月を經た木々ださうだ。

◇……◇

さかさ富士の名所も車中で過し、やがて關所跡に來た、今ではみかへりの松一本以外何の遺物もない、こゝで通行人の調べをした往時の風俗を偲ぶ、盜人うまやの話等も今昔の感に堪えないものだつた。標高八百五十米の地點は、靜岡、神奈川兩縣の境界線で白い柱が、一本立てられてゐた。車は長さ十粁巾八米の自動車專用道路をスピードを出して氣持よく進む。兩側の窓には時々枝振りのよい松等ぼつかりと白霧の中から浮き出た樣に見えて來る。鞍掛山やキヤンプの好適地池の平、十國峠等は霞のあたりがぼんやりと見えるだけ十國峠登り口と書いた立札がわづかに讀まれた。道が下りになる頃から、だん〳〵霧がうすらいで影の樣に立ち並ぶ木々の有樣は、さながらの墨繪である。好晴の折の箱根の景色を靜かに掩ひかくして、しつとりと淋しい霧の箱根。そこには云ひつくせない情趣をしみ〳〵と味ふ事が出來た。霧のすつかり晴れた四時三十分頃、山あひには相模灣が靑綠こまやかな松の間に薄紅色の櫻が咲きこぼれてゐるのがすぐ眼の下に見下された(五年森下彌生、山田和子記)

ラヂオ けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿三日(火曜日)

朝

講座
- 六・〇〇 建國體操
- 六・二〇 ラヂオ體操(東京)
- 六・四〇 中等滿語(大連)
- 七・〇〇 中等日本語講座(奉天) 講師 秩父固太郎
- 七・二〇 氣象通報 講師 近藤喜助(大連)
- 引續き 朝の音樂(レコード)(大連) 管絃樂「海」ドビユッシー作曲 ピエロボッポラ指揮に依る 管絃樂團(東京)
- 八・三〇 經濟市況
- 九・〇〇 早晨演奏(奉天)
- 九・二〇 料理獻立(大連)
- 九・四〇 經濟市況(大連)
- 一〇・〇〇 家庭講座(哈爾濱) 季節と耳鼻科的疾患に就て 哈爾濱日本赤十字病院 早川市藏
- 一〇・二五 家庭メモ
- 一〇・三五 經濟市況(大連)
- 一〇・四〇 經濟市況(東京)
- 一〇・五九 時報(東京)
- 一一・四〇 ニユース(東京・引續き新京)

晝
- 〇・〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
- 〇・二〇 野球試合實況(東京) 東京大學野球聯盟リーグ戰 明治神宮外苑野球場より中繼
- 一・〇〇 白天演藝 清唱 靑衣 王義龍 玉堂春 胡琴 霍瑞麟
- 一・二〇 ニユース(滿語)
- 一・五〇 市民講座(滿語) 關於新京特別市衞生狀況 新京特別市政公署 衞生科長 張繼有
- 一・五〇 下午演奏
- 二・〇〇 經濟市況(大連)
- 二・五〇 經濟市況(東京)
- 三・〇〇 ニユース(東京)
- 三・三〇 經濟市況(大連)

野球放送なき場合は左記を追加す
- 〇・二〇 晝の演藝
- 〇・四〇 日用品値段(大連市況に引續く)
- 三・〇〇 ニユース(東京・引續き新京)
- 三・三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
- 四・三〇 ニユース演藝(鮮語)
- 四・五〇 ニユース(英語)
- 五・〇〇 子供の時間 童話 長生太子 藤影日曜學校主事 下平哲英
- 五・二〇 コドモの新聞(東京)
- 五・二五 氣象通報 番組豫告 關屋五十二

夜
- 六・〇〇 ニユース(東京)
- 六・二〇 今晩の番組 官廳公示
- 六・二五 政府公報(滿語)
- 六・三〇 講演(東京) 孔子教と日本意識 文學博士 中山久四郎
- 七・〇〇 獨唱と管絃樂(東京) 獨唱 有馬大五郎 新交響樂團 指揮 ニコライ・シフエルブラット 歌劇「フイガロの結婚」序曲 モーツアルト作曲 外三曲
- 七・三〇 寄席中繼(東京) 四谷喜よしより
- 八・三〇 時報ニユース(東京)
- 引續き 八・四五 ニユース、經濟市況 氣象通報、番組豫告(滿語)
- 九・〇〇 舊劇 協和國劇社票友 武家坡 配役 平貴 林下小隱 寶川 濟秋 閣主 場面 琴瑞 錦 外十名
- 一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

四谷喜よしよりのお笑ひ寄席中繼

東京より高座四人の競演

【後七・三〇】

一、猫と電車 柳家權太樓

或る小學校の小使が校長先生から無理に仔猫を貰ひ、歸る道すがら電車の中でニヤゴニヤゴ泣き出す仔猫に困り果て、帽子の中に入れてしまふ。騷ぎが大きくなり、車掌がやつて來て猫の居場所を探す「貴郎ですか、持ちこんだのは」「わしは知りませんよ、ア、爪を立てゝは痛いよ」「何んですか」「痛いくすぐつたい車掌さん降りますよ」「變なお客だな」他の乘客に今降りたお客は帽子の中へ猫を隱してゐたことを聞かされた車掌「さうですか、どうも妙だと思つた、なるほど猫を被てゐたんだな」

二、幇間針 金原亭馬生

或る若旦那が醫に凝つた末が何をやつても面白くなく、いつは面白からうと稽古をはじめたが、相手が枕なので張合ひがなくいろいろと考へた末、馴染の幇間一八を呼んで實は私は針醫の學校を卒業したが未だ人間に一本も打つたことがない。是非お前が病人になつて針を打たしてくれといはれ、一八も仕方なく一本につきいくらか報酬を貰ふといふ條件つきで打ちはじめてもらふ。最初の一本を腹へ打つたところ、どうしても入つたきりでぬけない。仕方なく迎へ針を五本打つ、ところがどうしてもぬけない。若旦那は仕方なく一八の腹に膝を掛けて打つた針を一度にひくと腹の皮が破れて血がほとばしり出た。若旦那は眞ッ蒼になつて逃げ出してしまふ。ところへ下から女將が上つてきて「一八さん若旦那が眞ッ蒼になつて飛んで行つたよ」といふと「女將實は若旦那が針醫で私が病人になつたのですが」「それでもお前さんは名代の太鼓だからいくらかなつたかへ」「えゝ名代の太鼓でも皮が破られたら一文にもなりません」

三、近江八景 三遊亭圓生

八公が往來で友達に會つて話してゐるうち自分の好きな女に惚い男がついてゐるといふ事を知り、驚いて二人そろつて易を見てもらいに行き、自分の好きな女は年があけたらおれの所に來るかと尋ねるとこ易の表には澤火革と出たのは澤の火と同じく燃え移るところがないのであると革で改まりお前さんが草木になつて燃え移るといふ封だ女は來ますよとの言葉に氣をよくした八公が女から來た手紙を易者に見せる。此の手紙で見ると先方の女が顏に比良の暮雪ほど白粉をつけてゐたのをお前が一目みいでらからわがものにしようと心やばせにやつてからさきの夜の雨とぬれかかるがその女が秋の月文の便りも片便りその上お前さんは氣がそわ〳〵してゐるし女も根が道樂者だからこれは會はずにせいらんとしなさいと近江八景を洒落で云ふ。「それぢや分つた歸らう」と行きかかるのを「見料は？」と問ふと「冗談じやない近江八景にぜゞ(膳所)はない」

四、素人芝居 春風亭柳枝

大變芝居好きの旦那連が集つて毎年吉例の素人芝居をすることになり、出し物も忠臣藏と定まつたいろいろと役付けも定まつたが、おかるになる人間がゐないので、いろいろと探した末、下男の權助を賴んで稽古をつけ、いよいよ當日となつた。芝居は進んで七段目茶屋場となり、例の由良之助とおかるのやりとりがあつてから、おかるが七つ梯子を降りる段となるところが勢ひあまつたおかるは梯子をふみはづして舞臺にドカリと落ち其のはづみに權助の大きな毛ずねが見物人の鼻先にニユーつと出たので、客は「おかるの足に毛があるぞ」といつて騷ぎ出し中の一人は「今年のおかるは雄だんべい」

管絃樂と獨唱

【後七時東京より】

獨唱…有馬大五郎 新交響樂團 指揮…ニコライ・シフエルブラット

一、歌劇「フイガロの結婚」序曲 モーツアルト作曲

二、獨唱 (イ)歌劇「ドン・ジオヷンニ」 オツタヴイノの詠唱 モーツアルト作曲 (ロ)歌劇「魔笛」タミノの詠唱 モーツアルト作曲

三、歌劇「ローエングリ」第三幕前奏曲 ヴアーグナー作曲

四、獨唱 (イ)樂劇「ニユルベルクの名歌手」優勝のうた ヴアーグナー作曲 (ロ)歌劇「ローエングリン」ローエングリン告別 ヴアーグナー作曲

講演 孔子教と日本意識

文學博士 中山久四郎 【後六・三〇東京より】

孔子教は、又儒教とも申します元來支那に起つた教學でありますそれが早く我國に傳はりました。即ち孔子教は外來文化又は外來思想でありますけれども我日本に傳來してからは、よく我日本精神に包容され、日本道德の發展を助けて大に日本意識をもつやうになりました。それ等の事について議論よりもむしろ適切な史實によつて、我國の儒者が如何によく日本意識を宣揚したるかといふことを語り、及ばずながら聊か教學振興の一助にもならしめたいと思ひます……中山氏は東京文理大教授で斯會の理事です。

學藝

アラビア砂漠の今日（下）

（ラスワンエシア一月號から）

三

ヌーリと余は其キャンプに七日間滯在した。或夜ダーム（と呼ぶ白人奴隷―彼は十字軍時代捕虜になつたものゝ子孫と想はれる―が番人として余の側で眠ることゝなつた。其夜深更突然三發の銃聲と共に彈丸が余のテントの側をかすめる音を聞いた、ダームは突然起ち上つたが余は彼に伏す樣に命じ、石油ランプを消し地に腹這ひになつた。間もなくヌーリの奴隷數名がやつて來て怪漢が余のテントに近づくを見たので射擊したと說明したが、是を聞いたダームは飛び上つて憤慨した。蓋しベドイン族の規約としてキャンプの側では子女子を脅かぬ爲發砲を禁じてゐるが、彼等は是を犯し平氣でそのことを說明したからである。

昔はベドインの族長は二三十名の鷹匠を具し驛馬に跨り一二匹のグレイハウンドを連れ早朝出發し午過ぎには種々の獲物を持つて歸つて來たものである。勿論今日も狩獵はヌーリの好むところであるが自動車と長射程ライフルを知つた彼等は最早鷹やグレイハウンドを用ひないで高速の米國自動車で追ひまはすのだ。それは既にスポーツとは言ひ得ぬ殺傷である。

射擊事件のあつた翌朝ダマスカスより自動車でヌーリの孫が來着し、カモシカ狩に誘はれたが、余は自動車から無殘な殺傷をするに忍びずとして丁寧に拒絕した。然し彼は頻りに奬めるので彼と彼の友人に四名の奴隷を加へて出發した。軈て十四匹のカモシカを射止め奴隷達の愉快な鼻唄を聞きつゝ歸途に就くと突然銃聲と共に我等の自動車に彈丸が命中した丁度其時半哩彼方より同じくベドインの乘れる自動車が見えた。間もなく我等の車で擊てといふ命が發せられたが其聲の了らぬ中に一彈がまたもや我等の車體に命中して數秒後我等は車を掩護として迫り來る敵を懸命に射擊してゐたのである。

余はそれ迄にベドイン族間で三回の射擊戰に遭遇した事がある。然し今度は白晝全く不意だつたので照準は狂ひ、悉く的を外した。間もなく射擊は止め、敵は多少の損害を受けたであらうか逃亡したのであつた。

次いで起ち上ると余は顎に痛みを覺えた。彈丸が頰を貫き二本の齒と骨一本碎いて後奧齒の間に挾まつてゐたので口を開けると彈丸は齒の間から落ちた。地上を見ると四名の奴隷中一人は即死し、他の二名は瀕死の重傷を負つてゐる。我等はカモシカを下し死體と負傷者を車に乘せダマスカスに向け疾走したが途中他の二名も死亡したので、方向を變へ元のキャンプに歸り、死體を埋葬した、軈てダマスカスに赴き、佛官憲の調査せるところを聞くに襲擊したのはベニ・ハッサン一派で我等が彼等の牧地を犯したからといふのである。

以上が砂漠の今日である。武士道は亡び、遠距離より無警告の射擊が行はれ、其結果に無頓着である。然し是は西歐文明の影響によるものである。國際政治は巨大なる種族を分裂させ、彼等は廣大たる土地を濶步し得なくなり、半定住的生活を餘儀なくされ、彼等の嫌ふ農民と交はり、都會人、外國人の政治的支配に服從せしめらるゝに至つたからである。

ベドイン族は駱駝と共に亡びる。宛かも亞米利加インデイアンが野牛と共に亡びた如くに。

般若心經（三）

鹽谷壽石

文曰

「究竟涅槃」

官場現形記（39）

李寶嘉 作
山泰裕 譯

【第四回の四】

護院が見せた返電の文句は次のやうなものであつた。

「貴電拜誦、黄道の事はすでに緒ひを了した。諭に遵ひ代達した、帥の怒りは稍霽れた、郭道をして確查處置せしめる云々」

黄道台はそれを讀んでから又改めて護院にお禮を言ひ、感激に堪えぬ旨を語つて辭して來た。公館に歸つたところ誰が消息を傳へたのか判らぬのだが、局内の委員連中が銘銘挨拶を言ひにやつて來てゐた。

黄道台はその數人に會つたが、その他は一概に禮だけを言はせて置いた。みんなは歸り去つた。ただ錢典史だけがまつ直ぐ門の傍の部屋にやつて來て、戴升に取次を賴んだ

「この數日、大人が心氣御不快だと知つてやつて來なかつたのですよ、奧樣の御誕生日のお祝ひにも遠慮した次第です。もう何でもないんですね。まして私は特別に御愛顧を蒙つてゐるんだから、けふはどうしても特別にお眼に掛りたいと思ふなあ。ねえ、明日はどうだらうか？　ひとつあらかじめ一寸さう言つて置いてくれないかなあ。」

戴升はそれに答へて言つたのである。

「君、そんな格式張ることはないよ、昨日まで此處はひつそり閑としてゐたんだ、君なんかにぶらぶらやつて來て貰ひたかつたよ、君は來なかつたがね、今ぢや又千客萬來の騷ぎさ！」

錢典史は顏をあからめて言つたのである。

「ぼくはわざと來なかつたのぢやないよ、ただ老人の不興な所にぶつつかつたらいかんと思つたんだ、いま斯うしてゐるのも、まじめに考へての事だよ、やつぱりきちんきちんやりたい。」

戴升は

「もうわかつたよ、まあ君慌てることはないさ、その內日を定めてから報せてあげやうよ」

元來、錢典史は先日戴升と私語してから、その翌日には支應局から辭令を貰つて收支委員となつたのであつたのであつた。

所でこの日、錢典史が歸つてから戴升は考へたのである、これはひとつ御主人に申し上げて置かねばならん、といふのは錢典史の本當の氣持ではなく、自分自身の打算があつての事であつた。で、彼は奧の部屋に行つて次のやうに言つた。

「一昨日奧樣の御誕生日に、家に居ります者みんなでお祝ひをする積りにして居りました、所があひにくあの電報が來たので、ああいふ騷ぎになつてしまひまして、家の者は御飯も咽喉に通らなかつたやうな有樣です、夜もよく眠れませんでね、それはもう心中には、別にいい御主人を見付けてその御主人の御出世ととてもうまいことをしたいと秘かに考へてゐたものもありますす。もう數人はその運動をやつてゐた始末です、お邸の仕事はしやうともしないのです。斯ういふ良心のない奴らは全く見下げた根性です！」

黄道台は

「そんな良心を失つた奴らをまだ使つてどうする積りだ？　どいつだ？　速刻クビにしてしまへ！」

と言つた、戴升は

「名前を申し上げる必要はありません。よく言ふではありませんか〝大小は小人の過を記せず〟と。さういふ良心のない奴らは將來とも決して好い眼は見ません、まあ待つてゐて御覽なさい。」（つゞく）

風景

吉留幹雄

埃りにまみれた蒙古風が吹き始めると
水の中の瞳もかすかに生氣がうつゝて來た
曠野は果々迄も草の芽が靜かに動いて
赤い陽はひねもす中空にあると云ふ

×

なだらかな丘陵の下には朝鮮人の部落がある
上衣と裳衣が高木にかけられてあり
その風景の中に細々と煙があがる
疎林の間を吹く暖かい風は何處へ行くのであらう
老人はさつきから薪を折つてゐた

×

やがて春がやつて來る
陽は淡はく暈をかけ
曠野はかげりが時々やつて來るので
雪も氷も思ひ出しはしなかつたらしい
春が深むで暫らくすると
此の凹地には恐しい程の土砂降りがやつて來始めた

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△むらさき（四月號）この女性のための文學趣味普及の雜誌は古典と現代とそして世界文學の片鱗をまで取り入れて豐富多彩な編輯振りである、ローランのアントアネットから西鶴のおせんまでが、サッシア映畫「鄕愁」から三木春雄の「歌舞伎講話」まで、滿洲育ちの令孃諸君に特に推薦したく思つた（東京市神田區神保町二ノ二、むらさき出版部、四十五錢）

△月刊滿洲（四月號）池邊青李「新芽」まづ滿洲の春を奏でてゐる、グラフ「いとしきかれらよ」は柳田編輯長の「低氣壓の根源地は極めて朗かだ」及び「哈爾濱の哀みと歡びを語る夕」と相俟つてこの號を北滿特輯みたいにしてゐる井端守「向への女の話」は佳作と言へやう、石敢當「滿洲隨話」は彼らしく「ペンネーム由來」「あたまをかく頁」「在滿人名士門鑑」等に新京人も相當活躍してゐる、も少し新京のシヤン出して貰ひたいデスを（撫順東八條通四七、月刊滿洲社、三十錢）

△斯民（四月十五日號）グラフはいよく洗練されて來た「春天搭乘飛機而……」は良い風景である、堅い記事が堅過ぎるのは此の雜誌の性質としてどうかと思ふもつと碎けた書き方が必要であらう（新京中央通滿洲國斯民社、一分）

△大亞細亞主義（四月號）大西齋「北支赤化の兆勢」茂森唯士「滿蘇國境問題と日蘇關係の將來」香取桂一「北支防共の基礎工作」櫻木俊一「華僑と近代支那の動向」宇都宮希洋「英帝國と香港」村田孜郎「胡漢民と大亞細亞主義」高橋和義「萬里の長城に立ちて」其他調査記事多數（東京市麴町區內幸町大阪ビル、大亞細亞協會、三十錢）

△滿洲經濟情報（四月十五日號）龍江省地方金融と注目さる農村振興策　滿洲國特許發明法の制定と其現狀及び將來への期待其他資料、時事、雜報等三十二頁（大連市敷島町八二、日滿實業協會滿洲支部、十五錢）

△新京商工會議所調査彙報（第三十八號）十二月の新京財界概況、會議所記錄、諸統計等を掲載（新京三笠町三ノ七、新京商工會議所、二十錢）

△國際事情及評論（第五輯）滿洲國關係の世界各方面の論調を滿文にて收錄したもの、菊判二一六頁（滿洲國外交部宣化司）

△滿洲評論（四月十一日號）時評霍光の「外蒙古問題の展望」は注目さるべきもの「日支協力のためには不平等條約に替る强力な紐帶が結局の所必要でなからうか」と結んでゐる、小山「協和會運動の重要性」土井「支那の衛輪と出超」岸田英治「露支滿交涉紀要」下篇の外、原幸夫の「中支遊記」は寧波と奉化の旅を語つてゐる、新刊書評の福美參郎「滿洲守備風景」は伊知地大尉の新著を詳細に紹介してゐる、森啓一「餘靑雜話」は滿洲農村研究資料として珍重されてよい（大連市山縣通一八、滿洲評論社、十五錢）

▽講談倶樂部（臨時增刊號）

◇昨秋臨時增刊號で、大センセーションを起した講談倶樂部は、陽春の花と競つて、四月十六日發賣の臨時增刊で雜誌界を賑す◇こんども全部讀切新舊人を併せて創作二十一篇、實話三篇、スポーツ記三篇、講談三篇、〆て三十篇、前回に劣らぬ內容の充實ぶり◇菊池寛の「敵討裏街道」吉川英治の「戀易者」加藤武雄の「戀の鄙歌」土師清二の「命の革財布」など、ことに出色のもの◇筋の異色あるものでは子母澤寛の「五月鴉」竹田敏彥の「少年街の勇士」角田喜久雄の「阿蘭陀鍵」などを推す◇臨時增刊號には付きもののやうになつた犯人探し懸賞には横溝正夫の力作「妖魂」が出た、此號の懸賞は六つ、犯人探しの外に讀者文藝、大相撲勝負豫想、諸將棋、聯珠圍碁と恐ろしく賑やかなことだ。

昭和の常識

定められた時間内に、與へられた仕事を、間違ひなく正確に果すことが、信用を得る捷徑である

贈物の表書には内祝、寸志、薄謝松の葉、粗品等のものを除く外は『御』と云ふ字を添ふべきもの

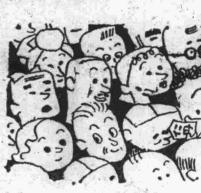
郵便で番地や字などを忘れた時は、封筒に分り易い地圖とか目印を書いて置いても配達してくれる

春こそは仁丹を

旅行や遊山に仁丹

花咲き、鳥歌ふ陽春の行樂季節となつて、いよ〳〵仁丹の必要は、此際、絶對の要件となりました。旅行に、お花見に、ハイキングに、仁丹の用意なしには、決して、ほんとの行樂氣分が滿喫できません

汽車や電車、船などに乘つて氣分の惡い時酒に惡醉ひして体の調子を損ねた時、こんな時こそ仁丹程重寶なものはないでせう

青空の下、美しい緑の野に轉んでの樂しい語らひ、遊樂の後の輕い疲れ、こんな時、仁丹程溌剌とした元氣をつけ、あの感じのよい芳薫の朗かさを味はせるものはない

胃腸の持藥に仁丹

胃や腸の惡いのが持病の方は、この春先の最も健康的な機會に、徹底的に仁丹を持藥として、すつかり根治して置いて頂きたい

食後胃の痛む方、苦い水の出る方、食慾の進まない方、消化不良で下痢勝ちの方、こんな方は必ず食後毎に仁丹を續用下さい

胃腸病でなくても、仁丹を續けて召上りますと、消化機能を調整して、榮養を增進し全身的に精氣が横溢して、著しく体軀の健康が强められて來ます

映畫や觀劇に仁丹

價千金といはれる春宵の一刻を、樂しい映畫や觀劇にお出かけの際には、是非仁丹をお忘れなくお持ち下さらねばなりません

人込みは、たいてい病氣や不衞生の溜りのやうなものだと言はれます。だから、それにはそれだけの御用意が賢明な道です

仁丹は、口から入る凡ての病菌を防ぎ、絶えず氣分を爽快にし、いつも佳い口薫を保たせ、どんな人込でも、絶對に安心して氣持よく凡てを享樂することが出來ます

頭痛や氣鬱に仁丹

春先は逆せ性の方には、とかく頭痛や眩暈の憂鬱さに惱まされるシーズンです。毎日頭の痛みに不愉快な日をかこたれる方に、今から是非仁丹の御常用をお薦めします

仁丹は藥效的に、腦神經の中樞に働きかけ痛みを鎭靜し、氣分を明朗にする作用がありますから、仁丹をのめば、いつでも速かに頭痛を解消して氣を晴々とします

それのみか仁丹は、常に頭腦を明斷にしますから平素頭を使ふ方の無二の常用劑です

執務に應接に仁丹

暖くなるにつれて、体の調子がだれたり、一寸睡氣を催ふしたりすることなど、よく御經驗になりませう

こんな時、直ぐ仁丹をのんで見て下さい。適度の興奮と、自然な力の漲りに思はず緊張を覺えること覿面です。これが卽ち仁丹で執務や活動の能率を倍增する所以です

殊に人と應對する時など、是非仁丹で氣分を爽やかに、口薫の奥床しさを發揮して下さい、應接は先づ感じが第一ですから

日滿市民の赤誠を“忠魂に咲かす日”
當日の祭場に溢る、催し物
忠靈塔大祭準備進む

三十日新京忠靈塔境内に於て施行される春季招魂祭の

行事

に關する各係準備狀況報告並に連絡打ち合せ會議は二十二日午後二時から日滿軍人會館で開催された、出席者

委員長小見山少將を始め庶務係長黑須少佐、同主任稻毛大尉、祭典係長中野總領事代理、主任稻葉地事庶務係長、接待係主任小胎國務院總務科長、催物係長小松聯合町内會長、同主任岡部駐滿海軍部副官、警備係長三馬場大佐代理、設備係長三浦關東局秘書課長、同主任關東軍西川少佐、救護係長島津軍醫正、同主任小田部看護官、國體係長代理關東軍浦山少佐、後援係長小松聯合會長

其他

關係者等三十餘名にてそれ／＼今までの準備進行狀況を報告したが當日の招待者は遺族、傷病軍人、陸海軍人、日滿顯官、新聞關係等六百餘名にて當日を最も盛大ならしめるため新聞其他にて宣傳するほか市内各所にポスター約三千枚を貼布し、數萬枚のビラを新聞に折り込み等して全市民に徹底させ

催物

は午前九時から約三百發の打ち揚げ花火を打ち揚げ約三十組の生花は九時半頃までに來賓席に陳列、劍道、銃劍術、柔道、大弓、角力は祭典終了後概ね十二時頃から開始し藝妓の手踊は正午頃から境内で開始する前に裝飾した十數台のトラックに分乘して市内を遊行しやうといふ計畫も立てられてゐる、在京軍人並に遺族に對しては全市四ヶ所の活動寫眞館を無料開放して觀覽に供し境内では活動寫眞の映寫は行はぬ筈である、其他滿洲芝居、滿洲奇術、滿洲國軍樂隊の演奏等は昨年に倍した

出演

があるものと期待されてゐる、次に當日の參拜團體は在京各部隊を除く一般團體として今までに決定したものは大使館四十名、在鄕軍人一千名、滿鐵一千名、中學校七百名、商業學校六百五十名、兩高女校七百五十名、青年學校百五十名、滿洲百側學校二十九團體四千四國計八千九百七十名に達してゐる

これ等各團體の集合位參拜順席等は不日決定それ／＼通知ある筈である

其他

催物等の具體的の事項は二十五日までに取纏め二十五日午後二時から軍人會館にて第二回準備委員會を開き確定することゝし午後三時四十分頃散會した

故戸田助役の
鐵道部葬しめやかに執行

【本溪湖國通】十八日未明匪賊の襲擊に遭ひ壯烈な殉職を遂げた南攻驛助役戸田稔氏外五名の鐵道部葬は悲みの淚も新たな廿二日午後一時三十分より本溪湖公會堂に於て佛式によりしめやかな裡にも盛大に執行された、この日施主山口鐵道部長代理、葬儀委員長石村奉天鐵道事務所長以下局員を始め第〇〇守備隊長、本溪湖署長、滿鐵社員會代表現業員代表其他關係者百數十名參列、中央祭壇及び式場兩側には各方面から贈られた供物花輪が殉職五氏の華々しい最後を物語るかの如く所狹き迄に飾られてゐる、やがてしめやかに僧侶の讀經に續いて殉職五氏に對する昇格表彰狀の報告、葬儀委員長、滿鐵總裁、奉天鐵道事務所長、南攻驛長、關部部隊司令官等の弔辭朗讀各方面より寄せられた百餘通の弔電披露あつて後委員長の挨拶あり、終つて參列者一同の燒香あつて同三時過ぎ式を終了したが喪服に淚を包む故戸田氏の祖母菊野刀自（八十才）は幼い六名の遺兒を始め遺族の人々の悲しみに沈む痛々しい姿は參列者一同の淚をそそつた

人妻に暴行
金錢を强奪逃走

留守居の若き人妻の隙に乘じ暴行を加へた上、金錢まで强奪して逃走した色魔漢が白晝しかも附屬地に現はれた—市内入船町三丁目某ビルディング十四號室電業會社勤務加來益雄氏（二五）＝假名＝は一週間前哈爾濱へ出張妻女艶子（二〇）さんが一人留守居してゐたが廿日午後一時頃一見廿七、八才の電業會社制服を着した邦人が加來方を訪れ『自分は電業會社ハルビン營業所工務課勤務のものだがハルビンで紹介をうけて參りましたが御主人はいらつしやいますか』と樣子を窺ひ艶子さんが主人はハルビン出張中で不在の旨告げると件の男は『今何時ごろですか』とあたりを見廻すので艶子さんは後向きになつて柱時計を見上げたその際をみて不意に後から艶子さんに抱きつき口に手を當て押倒し人事不省に陷らしめた上慾望を果しその上懷中の蟇口から拾圓紙幣一枚を掠拂つて悠々出てゐつた、屆出に接した警察では犯人搜査を行つてゐるが未だ目星はつかぬ、各家庭でも時節から充分注意されたいと

春・と・も・な・れ・ば ④
松花江の氷解けて 北上する燕人群
國都へ殺到する視察團体

爽やかに立ち並んで伸びてゆく國都の新しいビルディング、文化住宅、アパートなどなどにはのどかな春の息づきだ。だが、いまその大玄關たる新京驛に訪れた春の行進譜は巖然として渦まき且つ踊つてゐる。

◇……◇

若芽が荒涼の大地に豪華な絨氈を敷いた、櫻の花がパッと咲いた、水がぬるんでメダカが泳ぎ始めた、さあこうなると繁忙を極めるのが驛の旅客誘致係と、ツーリスト・ビユーローだ、お膳立もすつかり成つた春の行樂プランを同係について調べて見よう。

△觀櫻團體　大連星ヶ浦に三十名　五月二日發（發表濟み）
△李花見物　郭家店に三百名　期日未定
△吉林遊覽行　期日其他未定
△魚釣講讀大會　陶賴昭　飲馬河に

◇……◇

四月は旅行シーズンの開幕でもある、滿洲へ！滿洲へ！旅行團體の往來で我等が國都も俄かに活況を呈する、四月二十五日までに來京した學生團體は十四、人員八百六十名、普通團體が六つの四百二人、其後の申込みは目下學生二十二團體、二千九十二人、普通八團體、四百七十二人となつてゐる。

これに對して新京驛發日本向觀察團體は四月二十五日までに學生一團體四十八名、普通五團體百八十九人、以後の申込み學生四團體の四百五十六名で同係りの言ふところによれば今年は去年よりも觀察團行團體の往來約二割增加は確實だとある。國都の春はまさに旅行團體からといふところである。

◇……◇

氷が解け、春氣が動きはじめ奧地方面が長い冬眠からさめると、忽ち動き出した北滿は開發の鶴嘴の音が高らかに鳴り響き始める。この響きに應じるのが開發の原動力たる燕人群・苦力群の北上だ。山東方面から大連、營口、安東、又は奉山線經由のこの種不精錬勞働者軍が陸續として北へ北へ上つて來る、蒲團から鍋釜までを背負ひ込んで新京から京濱線、圖佳線經由で奧地へ／＼と流れてゆく彼等こそ滿洲特有の春の渡り鳥…鳴四月一日から同二十五日迄の北行苦力が六十八團體延人員八千五百六十六人、こうして一日平均三百四十餘名の苦力連が治安も確立された王道樂土の產業開發の第一線に立つて出發するが、滿洲國經濟開發の歩掛に正比例して益々增加することであらう。春は汽車に乘つて……一種敢然としてゐて、しかも微笑ましい建設の風景ではある。

これは傑作爆笑篇
私の宿は何處？…… 暢氣な赤毛布
新京署員流石に啞然となる

數々齎らす春の話題中の傑作篇、昨日は又迷ひ子ならぬ迷ひ親爺が現はれて新京署員を困まらせてゐた—廿二日午後三時半頃體に合はぬダブ／＼の古服に擦り減つた靴を穿いた卅格好の親爺が新京署司法係を訪れて"私は昨晩遲く新京驛に降りて近くの宿屋に泊つたのですが今朝九時ごろ天氣がよかつたのでフラ／＼見物がてら出たのですがとう／＼宿屋が見つかりませんが私の泊つた宿屋はどこでせうか"と變てこな願出でに井上當直刑事も大の男の迷子には苦笑してゐた、何といふ宿屋か驛からどの方向にあるものか全然見當つかず、前夜の宿帳全部調べたが大卑三平の宿帳も判明せず『驛へ一旦戻つてよく考へて見よ』と名判斷を下して追ひ返へした

又も奇篤の兩女
戰跡巡禮の淨財を國防獻金へ

市内羽衣町二丁目喜來シマ、松岡シズの兩婆さんたちは先月二十八日ごろから旅大地方の日露戰跡巡りをなした後同地方の戸毎で御詠歌をあげて得た淨財十一圓七十錢を國防獻金に二十二日午後新京署を經て寄附した

滿人記者團着京

【東京國通】滿人記者訪日團並びに協和會日本視察團一行四十八名は關西、名古屋地方の視察及び伊勢神宮に參拜を終へて廿二日午前五時廿五分東京驛着入京宿舍に少憩後同九時宮城を遙拜したる後陸、海、外、拓の各省に來朝の挨拶廻りをしたが午後は對滿事務局、府廳、市役所、滿鐵支社、大使館等を巡訪する豫定である

圖佳線の名物
依田大橋流失

【圖們國通】圖佳線の大邑寧安の異色ある存在だつた依田大橋（牡丹江の本流に架設せる大木橋）は現蒙政部次長依田四郎少將が滿洲事變勃發當時駐屯された際縣民の交通不便を考慮して架設されたもので、小杉工兵隊長及當時少數の在留邦人等努力の結晶で竣工したもの、實に思出の深い歷史的記念物だが、昨年來の結氷季節中の手入れに缺陷があつた爲め本月十七日の大解氷の際の濁流に押流されて了つた、寧安市民は「依田の大橋渡りで渡り、月に見送る主の影」と小唄にまで謳つた名橋を失つた事を非常に殘念がつて居る

聯合町内會
正副會長決定

新京聯合町内會正副會長は廿二日左の如く決定した

會長　小松[illegible]
副會長　早川武夫
同　天野恒太郎

第五分會で
未教育補充兵に教育

在鄕軍人會新京第五分會では二十二日から五日間八島小學校で毎日午後六時から八時卅分まで未教育補充兵に教育を實施する爲昭和十年度徵兵檢查の結果第一補充兵役に編入したものは一人殘らず出席し教育を受けられたいと、なほ教育を受けた皆勤者に對しては終了證書を授與する、同終了證書は本年度簡閱點呼の際執行官が點檢されるおもきなれば全員ともに萬難を排さ振つて參加されたいと

本年度の架橋
百ヶ所突破

國内交通網の整備は產業開發經濟發展並に治安確立の上に重大影響を及ぼすので政府では鐵道並に國道の建設を重視し着々と之が整備を行つてゐるが、之と並行して私鐵網並に地方土木事業に屬する地方道路の整備は幹線交通網の培養線として必須缺くべからざるものであり民政、交通兩部では之が發達につき銳意力を注いでゐる、即ち民政部土木司では地方各省縣公署を督勵し地方民の協力を仰いで着々道路開拓の步を進め就中滿洲に於ては橋梁の設備殆んど皆無に等しく、雨期或は解氷、雪期には全く交通杜絕ある地方の多いのに鑑み橋梁架設に重點を置き應急橋から半永久橋、永久橋と漸次整備する方針で本年度地方土木事業としての架橋工事でも百ヶ所以上に上るべく地方住民にとりては一大福音を齎らす譯である

北滿拳鬪會
再聲明

柔拳鬪試合に關し柔道有段者會から再び吉田三段は認めざる旨を聲明したがこれに對し北滿拳鬪會では左の如く辯駁再聲明した

×

市民諸氏に告ぐ

今回二十二日二十三日我が北滿拳鬪會の主催せる日露柔道拳鬪試合に關して再び有段者會からの聲明書發表に關して北滿拳鬪會の主旨及び聲明書を再度發表致し市民諸氏の御後援を願ひ度いと思ひます、今回の試合は一露人選手より柔道との試合がやつて見度いとの申込に關し我が北滿拳鬪會は此れを武德會及び講道館に申込む可き筋合のもので無い故、知人吉田君に告げたので有ります、若し露人選手が世界的な選手で有り顏を擧げて申込んで來たならば人の言を待たず日本國技の最高武德會及び講道館に告げ、又は申込んで行きますけど御存じの通り一露人選手が申込んで來たのを武德會及び講道館に告げる必要を認めず當地在住の有段者に告げたので有ります吉田氏は決して何處の有段者でも無く日本有段者で有ります、柔道有段者とかたりて興行者に利用されるのでは有りません、再度日本武道冒瀆云々に關しましては決して吾々は日本武道の柔道を冒瀆しては居りません、若し新京有段者會から試合を迷惑千萬と聲明書を發表するなれば、東京及び日本各都市に於て興行する柔拳試合に當滿洲新京有段者から聲明書發表云々に就て何故抗議を申込まないのでしようか、日本武道柔道を外國では此れを柔術と云ひ今日に至つては日本武道柔術を外國に迄普及して居るでは有りませんか、日本の柔道家がアメリカに行つて外國の拳鬪と對抗試合を行ひ此處に始めて日本武道柔術が世界世人が知る現在では有りませんか、吾等は決して今回我が北滿拳鬪の主催せる日露柔拳對抗試合を決して冒瀆とは思ひません市民諸氏の寬大なる御考慮あらん事を吾等は聲明して切望する次第で有ります

北滿拳鬪會　マネージャ　トム秋田

全滿居留民會長
聯合會開く

全滿日本人居留民會長聯合會總會は二十三日午前十時より記念公會堂第二集會室に於て開催することになつた

坂本新捕はる

原籍佐賀縣東松浦郡唐津市生れ坂本新（三〇）は市内室町二丁目十三番地榊原商店に雇はれ中去る四日六十餘圓を集金橫領して行方を晦ましてゐたが廿二日午前十時頃新京署の成松刑事に發見逮捕された

滿人宅の小火

市内富士町三丁目六番地滿人雜貨商李某宅煙突から昨朝九時五分ごろ發火、新京消防隊が出動同十五分鎭火した、原因は煙突の不完全かららしい

海軍機不時着水
英汽船に救助さる

【熊本國通】熊本遞信局着無電、二十日午後六時頃支那黃海北緯卅六度、東經百廿二度の海上に我海軍の水上偵察機一臺乘組員三名（氏名不詳）が不時着水漂流してゐるのを上海から靑島に航行中のイギリス汽船ヒユーナン號が發見し機體は遺棄し乘組員三名は同船に救助された

凧揚げ見物に
バスを運行

天長節奉祝日滿凧揚大會は俄然人氣を博し在京各縣人會、會社其他各團體では當日の人氣を一手にさらはうと着々準備を進めてゐるが一方個人間に於ても極秘裡にお國自慢の凧を飛行便で内地から取り寄せる等大した前景氣で數許市中は凧揚の話で持ち切りの有樣である、この向だと當日は大凧小凧の參加數は豫想をはるかに突破するものと見られ交通會社では參加者並に觀衆の便宜を圖り臨時バスを增發することに決定した

錦丘高女
指定認可下る

指定認可申請中の錦丘高等女學校は四月一日附を以て文部、外務兩省より滿鐵に對し在外指定學校として認可する旨通知があつた、因みに同校は本年二月設立認可、四月一日開校現在

一年生　三組　一四四名
二年生　二組　九八名
總數二四二名である

公學校生
修學旅行

新京公學校六年生一行の修學旅行は來る五月五日午後二時四十分新京發五日間に亘り旅大、奉天各地を見學することになつたが見學個所は次の通りである

△旅順—博物館、陳列館、白玉山、戰跡、公園
△大連—資源館、埠頭、滿鐵本社、ガラス工場、星ヶ浦公園
△奉天—醫科大學、城内、故宮博物館、滿蒙毛織會社

なほ歸京は九日午後六時四十分の豫定

友愛セール
五月三日三笠校で開催

友の會主催の第四回友愛セールは五月三日午前十一時から午後四時迄三笠小學校講堂で開催、廣ろく一般家庭の不用品の廉賣が行はれるが出品申込は千島町二ノ一正座アパート高橋方で受付ける事となつてゐる

高峰筑風氏逝去

【東京國通】高峰琵琶の宗家高峰筑風氏は腦溢血のため廿一日午後四時逝去した、享年五十八

春季第一次競馬
一日目成績

春季第一次新京競馬第一日成績左の如し

▲第一競馬（二、二〇〇米）四頭立、1信貴（久保田）三分一一、三 2生花 3金順 配當單一一圓三〇、等外二圓六〇 搖彩票[illegible]
▲第二競馬（二、〇〇〇米）十頭立、1眞弓（落合）三分三 2費石駒 3晴流 配當單一二圓二〇、復1五圓六〇[illegible]
▲第三競馬（二、二〇〇米）六頭立、1寶洋（松本）三分二〇、三 2一走 3瑞陽 配當單六七圓〇〇、復1[illegible]
▲第四競馬（一、八〇〇米）[illegible]
▲第五競馬（一、八〇〇米、一二頭）[illegible]
▲第六競馬（二、二〇〇米）[illegible]
▲第七競馬（一、八〇〇米、一二頭）[illegible]
▲第八競馬（二、二〇〇米、一〇頭）1旭正（二分四五秒一）2新燕風 配當單八[illegible]
▲第九競馬（一、八〇〇米、一二頭）1金城（二分四一秒一）2春駒 3北靈[illegible]
▲第十競馬（二、〇〇〇米、十六頭）1劍風（二分五二秒一）2有光[illegible]

探偵小說 **殺人技師**（轉載上映）　森下雨村 作　茅切柴水 畫

七七 絹代の活躍（五）

清水親治の名を聞いた時、保科啓郎は、強靭に、頬の筋肉をひきつらせた。そして椅子の背をつかんだまゝ、ぢつと絹代の顔を見返してゐたと思ふと、ふいに吐き出すやうにいつた。

『馬鹿な！馬鹿な！そんなことが――。』

思ひもかけぬ相手の言葉に、絹代はぎよつとして、保科の顔を見返した。

今迄の柔和な、温味のある表情は跡形もなく消えてしまつて、そこには名狀し難い憎惡と憤怒が、まざまざと浮き出てゐるのだつた。

絹代は除にも激しいこの變化に思はず躰をふるはした。

保科は何にかわけの分らぬことを呟きながら、荒々しく部屋の中を歩いてゐたが、やがていくらか興奮からさめたであらう。疲れきつたやうな顔付きをして、もう一度絹代の前にもどつて來た。

『私に、あの男を救へと仰有るのですか。この私に――。』保科はそこでひからびたやうな笑ひを立てた。『一體どうして、私にそんなことがいへるのです。』

『あなたは、昔、あの人のお父樣とお友達でした。』

『いゝや。友達ではなかつた。私とあの男の父親とは敵同士でしたよ。』

『存じて居ります、』絹代は低いながらも、きつぱりとした聲でいつた。『あなたがあの人のお父樣をお憎しみのことは、よく存じて居ります。しかし、父に對する憎しみを、何にも知らないその子供が、受けつがなければならないものでせうか。それに、あの人は今恐ろしい罪におちてゐるのです。それを救ふことの出來るのは、あなたより他に誰もないのでございます。――それでも、あなたは、あの人を見殺しになさるおつもりでございますか。』

『絹代さん――絹代さんでしたね。あなたは、一體あの男とどういふ關係にあるのですか？』

『親治さんと妾とは、遠からず結婚する事になつてゐました。』

保科はさも意外なことを聞いたといふ風で、またもや椅子の背をしつかと掴んだ。そして、まるで噛みつくやうに絹代の顔をぢつと見てゐたが、やがて窓へ廻つて、ぐつたりと椅子に腰をおろすと、

『よろしい。それで、私がどうすれば、親治君が救はれるといふのですか？』

『ありのまゝの事を仰有つていたゞければいゝのですわ。あの晩、親治さんはあなたと一緒に東亞ホテルを出ました。だから、ホテルの前から自動車に乘つたのは、親治さんではなかつたのですわ。』

『ほゝう、』保科は急に興味をもよほしたらしく、

『ぢや、あのホテルの前で、人が入り違つたといふのですか？』

『さうなんですの。』

『で、後の男――つまり、親治君の身代りを勤めた男は――？』

『それは、今、ホテルで突きとめてまゐりましたので、名前もわかつて居りますの。』

『ふうん。』

保科はこの繊細な若い女性を、改めてつくづくと見直しながら、

『でそれは何んといふ男だね』

『内海耕太郎といふのです。』

『え！』

絹代は、相手の驚きがあまり大きかつたので、思はず自分まで椅子から飛上りさうになりながら、

『その男を御存じなんですか』

『いゝや、いゝや、まさか私が――。』

しかし、絹代は明かにうろたへ氣味のその言葉を聞いてゐるうちに、突然あることを思ひ浮べた。

家庭醫學

榮養劑は何がよいか？

榮養素を補給するのみなる榮養劑から自力的に機能の衰弱を恢復する榮養促進劑へ

今日の所謂、榮養劑と呼ばれてゐるものには、アミノ酸とかヴイタミンとか葡萄糖とかの榮養素の一、二を含有するに過ぎないものが多い樣に見受けられます。從つてそれら

榮養劑の價値は

その含む榮養素の種類や量により決まり、例へば『本劑の榮養價は肝油の何十倍、鷄卵の何百倍に當る』といふ樣な事が大切に考へられてゐるのであります。

勿論、さういふ榮養劑もそれだけの効果はありますが、考へてみますと榮養劑を必要とする程の人は大抵その榮養素を消化、吸收する胃腸の働きも滿足でないから、如何に有効な榮養素でもそれを充分に血となし肉と化する事の出來ない憾みがある譯であります。

そこで最近では、人間が持つて生れた生活機能で、日常の食物からもどんどん必要な榮養素を消化吸收する樣に、胃腸の能力を旺盛にさせ、同時に榮養素を供給するといふ一歩進んだ、自力本位の榮養劑が要求される樣になりましたヘーフエ菌劑『錠劑わかもと』が專ら服用されだしたのはこの爲であります。

この『錠劑わかもと』は非常に複雜な成分から出來てゐて、之を在來の榮養素補給の榮養劑としてその含む榮養素を較べてみましても脚氣ばかりでなく胃腸にも

發育促進にも

効果の認められてゐるヴイタミンBをはじめ、肝油にあるのと同じヴイタミンA、Dもあり、その他リヂン、ヒスチヂン等、血を造る鐵分、神經の榮養になる燐、レチシン、齒牙、骨格の榮養になる外に結核症に對して抵抗力をつけるカルシウム、その他各種の榮養素を含有して、その豐富さは榮養素本位の榮養劑にまさつてをります。

けれ共『錠劑わかもと』としてはこれらは寧ろ誇るに足るべき特徴ではありません。若素（わかもと）の最も特長とする價値は、榮養素の外にも十數種に亘る夥しい活性酵素が含まれ、それが前述べた榮養促進の働きを充分に發揮する點にあります。

微妙な物質ですが

酵素といふのは現代の進んだ學問でも未だ完全に化學的な組成を知る事の出來ない程の微妙なものですが、之は人體内にあつてはすべての機能の根本をなすもので若素（わかもと）は人體にこれを補給しますから、衰弱せる細胞を更生させて自力的に恢復へと向はせる働きをするのであります。

それで胃腸の機能は當然、活潑になつて食慾は進み、消化吸收も完全に行はれる樣になるのでこれによつて榮養增進の第一目的が達せられるのであります。

事實若素（わかもと）を服用しますと一般衰弱者が一日僅かの服用量にも拘らず、漸次に體重の增加を來すといふ事は、とりも直さず榮養促進の基礎がうち立てられたからで、一般衰弱者や、虛弱乳幼兒の體質強化には勿論、脚氣、結核、胃腸病等一般衰弱病治療上に優れた効果を認められてをります

寸鉄醫學

結核と腹膜炎

腹膜炎には、盲腸炎の患部や胃腸の潰瘍が破れ或ひは婦人病から起るものもありますが九十%までは結核性であると云はれてゐます。

結核性腹膜炎は、勿論結核菌の侵入によるもので、肺や氣管淋巴腺に居た結核菌が血液や淋巴液中を流れて腹膜に潜入し、玆に病竈を造る爲に發病します。

手當としては、全身細胞に活力を與へて、白血球の喰菌作用を扶ける活性酵素と、貴重榮養素を併せ含んだ若素（わかもと）の服用が、一段進歩した療法として賞用されて居ります。

常習便秘が招く大人の高血壓

小兒の自家中毒症

（血壓計による血壓測定）

說明―Cによつてゴム製の帶(B)の中に送り動脈を壓迫し、E部の脈の消失した時に、血壓の度はAの水銀柱に示される

常習便秘の害については、メチニコフ學說以來、屢々說かれたにも拘らず、下痢と違つて、その害が比較的緩慢、かつ間接的に現はれる爲、兎角放置して、しらずしらずの裡に種々の病氣を誘發せしめる場合が多い樣です。

腸内、殊に大腸内は絶好の細菌培養場で、實に種々樣々の細菌が無數に

棲息

してゐて便秘して

これが腸内に滯留すると幾千萬億とも知れぬ細菌は、こゝを舞臺として醱酵し、暴威を振ひます、尤も細菌中には、却て有害菌の繁殖を抑制する樣な、所謂有益菌もありますが、大體に於いて有害な物であり、腐敗醱酵によつて旺に毒素は腸壁から血管や組織内に吸收され、血管に吸收されたガスは、全身を循つてあらゆる機能に浸潤し、害惡をもたらします。

ことに抵抗力の弱い小兒などはその害も甚だしく、毒素に腦神經の中樞を冒されて、ひきつけたりするものです。

大人には勿論それ程急激には來ないが

頭痛

耳鳴り、眩暈、息切れ等となつて現はれ、種々の餘病を引起したりしますが、殊に注意すべきはこの中毒が血管の組織を硬化させ血液の循環を阻害して、高血壓を誘發させることです。

勿論高血壓には、體質その他の原因があり、それ程簡單ではありませんが、自家中毒もその原因の一つをなす事はもはや動かすべからざる定說となつてゐます。

便秘を起す直接の原因は、大腸筋の弛緩、腸内の分泌過少等でありますが、これらはある程度まで食餌を選擇することによつて防げるものですから、なるべく蛋白、脂肪性の肉食を避け、含水炭素、無機質に富む野菜、果物等を多く攝る事が必要です。

勿論蛋白質や脂肪も、全く攝らぬわけには行きませんから、その不足は出來るだけ植物性の物で補ふ樣にすればいゝわけで、さういふ人達に最も適當した榮養劑として若素（わかもと）の常用をお薦めしたいと思ひます。

植物

若素（わかもと）には、この性脂肪や、含水炭素、無機質、ビタミン等の榮養素が網羅されて居り、この外に弛緩した胃腸筋に活力を與へ、機能を活潑にさせて、胃腸内の分泌を旺にする活性酵素が含有されて居ります。

從つて痼疾となつた便秘も、之を服用すれば、胃腸機能が根本から恢復して、快い自然の便通がある樣になると共に、腸内の毒素やそれが釀す種々の症狀も段々解消して來る譯で、この綜合効果こそ（若素わかもと）が、下劑でない便秘の原因的療法の藥として賞用されてゐる所以であります。

なほこの若素（わかもと）は東京芝公園大門際、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入の二種が一日五六錢にも當らぬ廉價で發賣されてゐますが、近來その聲價を利用して、効果疑しい類似藥（酵母、ビール酵母劑といふも、類似藥です）をお薦めする藥店もありますから御注意下さい。

運動不足からの胃腸病、便秘を克服

（栃木）篠原啓

【前略】中學校を卒業する頃から過度の勉強で、運動も出來ず、家の中で机の前にばかり居りましたので胃腸を害して仕舞ひました。始終氣分が惡く口の中に酸つぱい水がたまつて來てお腹がすくと氣分が極度に惡く嘔吐さへも催す樣になり、それで食事をすると幾分なほります（中略）醫者にそのことを話して診て戴きますと、胃酸過多症とのことで、醫者に數日通ひました。（中略）……知人から『錠劑わかもと』の話をきゝ、早速用ひてみますと、思つたより効きますので、すつかり嬉しくなり一瓶のんで仕舞ひ、また一瓶といつた樣に毎日缺かさず續けました。

その樣にして約二ケ月も續けますと、何時の間にか酸つぱい水も出なくなり、胃が痛むこともなくなり、胸やけもなくなり惡い胃病もすつかりなほつて仕舞ひました。

そして便通がよくなり毎日氣分の良い日を送ることが出來ます。――その後四年になりますが私は『錠劑わかもと』だけはやめたことがありません（後略）